令和8年度

古川水管橋（上流）ほか塗装修繕工事

福島地方水道用水供給企業団

担当課　施設管理課　施設係

設　　計　　書

作成　令和 年 月 日

工事名	古川水管橋（上流）ほか塗装修繕工事			
工事箇所	伊達市保原町大柳字前田～字向原地内ほか			
工事金額	（別途消費税）	工事期間	自　令和　年　月　日 至　令和　年　月　日	115 日間
起工・~~変更~~ 理　由		工事仕様 概　要		

令和8年度事業計画に基づき、古川水管橋(上流)ほか3橋について、経年劣化した水管橋の機能維持、並びに延命化対策として塗装修繕を実施するものです。

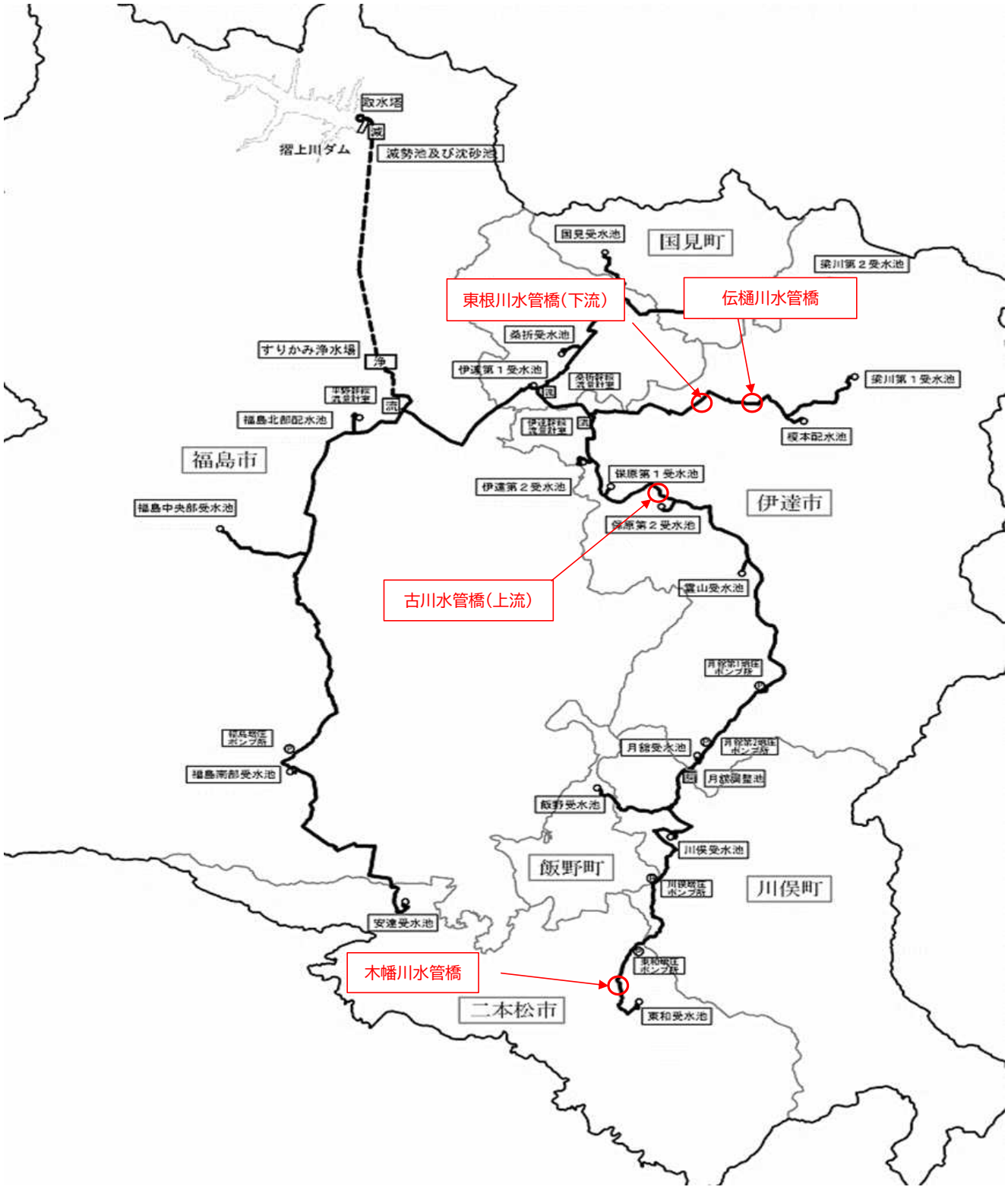
土木工事共通仕様書(福島県土木部監修)
水管橋外面防食基準(日本水道鋼管協会)

塗装工	150.9 ㎡
内訳	
古川水管橋(上流)	66.1 ㎡
東根川水管橋(下流)	40.8 ㎡
伝樋川水管橋	31.6 ㎡
木幡川水管橋	12.4 ㎡

企業長	
○	
事務局長	
次長	
技術管理者	施設管理課長
○	
課長補佐	施設係長
検算	設計

福島地方水道用水供給企業団

位置図


取水塔
摺上川ダム
減勢池及び沈砂池
国見受水池
国見町
梁川第２受水池
東根川水管橋（下流）
伝樋川水管橋
桑折受水池
すりかみ浄水場
伊達第１受水池
梁川第１受水池
福島北部配水池
榎本配水池
福島市
伊達第２受水池
保原第１受水池
伊達市
福島中央部受水池
保原第２受水池
古川水管橋（上流）
霊山受水池
月館受水池
月館調整池
福島南部受水池
飯野受水池
飯野町
川俣受水池
川俣町
安達受水池
木幡川水管橋
二本松市
東和受水池

工 事 概 要 書

工 事 名 ： 古川水管橋(上流)ほか塗装修繕工事
対 象 物 ： 古川水管橋(上流)ほか3橋
施工場所：伊達市保原町大柳字前田～字向原地内ほか

工事概要： 令和8年度事業計画に基づき、古川水管橋(上流)ほか3橋について、経年劣化した水管橋の機能維持、並びに延命化対策として塗装修繕を実施するものです。

1. 4橋合算

1-1. 塗装修繕工

工種	規格・寸法	単位	数量
水洗い、清掃		㎡	150.9
素地調整	3種ケレンC	㎡	150.9
下塗り	エポキシ樹脂塗料　4回塗り	㎡	150.9
中塗り	ふっ素樹脂塗料　1回塗り	㎡	150.9
上塗り	ふっ素樹脂塗料　1回塗り	㎡	150.9

1-2. 溶接修繕工

工種	規格・寸法	単位	数量
溶接工		m	3.0

1-3. 仮設工

工種	規格・寸法	単位	数量
水管橋足場工			
足場	単管足場	掛㎡	426.1
シート張防護	両側朝顔	㎡	353.2
仮水路工			
仮設排水管据付・撤去	高密度ポリエチレン管(シングル)		
	Φ700～Φ1000無孔管	m	56.0
土のう	大型土のう製作・据付	袋	82.1
土のう	大型土のう据付・撤去	袋	82.1
土砂等運搬	残土処理	㎥	82.1
整地		㎡	82.1
現場発生品運搬	現場発生品及び支給品積込・荷卸し	t	0.3
現場発生品運搬	現場発生品・支給品運搬	t	0.3

福島地方水道用水供給企業団

工 事 概 要 書

産業廃棄物処分		㎥	0.6
防護施設工			
立入防止柵		m	15.0
作業ヤード整備工			
路体(築堤)盛土	購入土 1.33(ほぐし率)	㎥	37.0
土砂等運搬		㎥	37.0
整地		㎥	37.0
安全管理工			
交通誘導員	交通誘導警備員B	人	38.0
運搬費			
仮設材運搬	8.0t 片道2.2km	式	1.0
仮設材積込み		t	8.0
仮設材取卸し		t	8.0

1-4. 安全費

工事名標示板	工事名標示板加算額	基	4.0

工 事 概 要 書

2. 古川水管橋(上流)

1-1. 塗装修繕工

工種	規格・寸法	単位	数量
水洗い、清掃		㎡	66.1
素地調整	3種ケレンC	㎡	66.1
下塗り	エポキシ樹脂塗料　4回塗り	㎡	66.1
中塗り	ふっ素樹脂塗料　1回塗り	㎡	66.1
上塗り	ふっ素樹脂塗料　1回塗り	㎡	66.1

1-2. 溶接修繕工

工種	規格・寸法	単位	数量
溶接工		m	3.0

1-3. 仮設工

工種	規格・寸法	単位	数量
水管橋足場工			
足場	単管足場	掛㎡	342.6
シート張防護	両側朝顔	㎡	221.6
仮水路工			
仮設排水管据付・撤去	高密度ポリエチレン管(シングル)		
	Φ700～Φ1000無孔管	m	15.0
土のう	大型土のう製作・据付	袋	27.0
土のう	大型土のう据付・撤去	袋	27.0
土砂等運搬	残土処理	㎥	27.0
整地		㎥	27.0
現場発生品運搬	現場発生品及び支給品積込・荷卸し	t	0.1
現場発生品運搬	現場発生品・支給品運搬	t	0.1
産業廃棄物処分		㎥	0.2
防護施設工			
立入防止柵		m	15.0
安全管理工			
交通誘導員	交通誘導警備員B	人	18.0

1-4. 安全費

工事名標示板	工事名標示板加算額	基	1.0

工 事 概 要 書

3. 東根川水管橋(下流)

1-1. 塗装修繕工

工種	規格・寸法	単位	数量
水洗い、清掃		㎡	40.8
素地調整	3種ケレンC	㎡	40.8
下塗り	エポキシ樹脂塗料 4回塗り	㎡	40.8
中塗り	ふっ素樹脂塗料 1回塗り	㎡	40.8
上塗り	ふっ素樹脂塗料 1回塗り	㎡	40.8

1-2. 仮設工

工種	規格・寸法	単位	数量
水管橋足場工			
足場	単管足場	掛㎡	48.7
シート張防護	両側朝顔	㎡	70.6
仮水路工			
仮設排水管据付・撤去	高密度ポリエチレン管(シングル)		
	Φ700～Φ1000無孔管	m	25.0
土のう	大型土のう製作・据付	袋	42.5
土のう	大型土のう据付・撤去	袋	42.5
土砂等運搬	残土処理	㎥	42.5
整地		㎥	42.5
現場発生品運搬	現場発生品及び支給品積込・荷卸し	t	0.1
現場発生品運搬	現場発生品・支給品運搬	t	0.1
産業廃棄物処分		㎥	0.3
作業ヤード整備工			
路体(築堤)盛土	購入土 1.33(ほぐし率)	㎥	37.0
土砂等運搬		㎥	37.0
整地		㎥	37.0
敷鉄板	22×1524×3048 10枚 共用20日		
敷鉄板設置		㎥	46.5
敷鉄板撤去		㎥	46.5
敷鉄板賃料	10枚×共用20日	枚 ・ 日	200.0
安全管理工			
交通誘導員		人	12.0
運搬費			
仮設材運搬	8.0t 片道2.2km	式	1.0
仮設材積込み		t	8.0
仮設材取卸し		t	8.0

1-3. 安全費

工事名標示板	工事名標示板加算額	基	1.0

工 事 概 要 書

4. 伝樋川水管橋

1-1. 塗装修繕工

工種	規格･寸法	単位	数量
水洗い、清掃		㎡	31.6
素地調整	3種ケレンC	㎡	31.6
下塗り	エポキシ樹脂塗料　4回塗り	㎡	31.6
中塗り	ふっ素樹脂塗料　1回塗り	㎡	31.6
上塗り	ふっ素樹脂塗料　1回塗り	㎡	31.6

1-2. 仮設工

工種	規格･寸法	単位	数量
水管橋足場工			
足場	単管足場	掛㎡	10.5
シート張防護	両側朝顔	㎡	29.5
安全管理工			
交通誘導員	交通誘導警備員B	人	4.0

1-3. 安全費

工事名標示板	工事名標示板加算額	基	1.0

福島地方水道用水供給企業団

工 事 概 要 書

5. 木幡川水管橋

1-1. 塗装修繕工

工種	規格･寸法	単位	数量
水洗い、清掃		㎡	12.4
素地調整	3種ケレンC	㎡	12.4
下塗り	エポキシ樹脂塗料　4回塗り	㎡	12.4
中塗り	ふっ素樹脂塗料　1回塗り	㎡	12.4
上塗り	ふっ素樹脂塗料　1回塗り	㎡	12.4

1-2. 仮設工

工種	規格･寸法	単位	数量
水管橋足場工			
足場	単管足場	掛㎡	24.3
シート張防護	両側朝顔	㎡	31.5
仮水路工			
仮設排水管据付･撤去	高密度ポリエチレン管(シングル)		
	Φ700～Φ1000無孔管	m	16.0
土のう	大型土のう製作･据付	袋	12.6
土のう	大型土のう据付･撤去	袋	12.6
土砂等運搬	残土処理	㎥	12.6
整地		㎥	12.6
現場発生品運搬	現場発生品及び支給品積込･荷卸し	t	0.1
現場発生品運搬	現場発生品･支給品運搬	t	0.1
産業廃棄物処分		㎥	0.1
安全管理工			
交通誘導員	交通誘導警備員B	人	4.0

1-3. 安全費

工事名標示板	工事名標示板加算額	基	1.0

福島地方水道用水供給企業団

総 括 情 報 表

事務所	B1 福島地方水道用水供給企業
設計書名	実施設計書　　当初　00000000000
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1 実施単価
適用単価地区	13 C（県北３）地区
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 土木工事
ファイル名	令和８年度 古川水管橋（上流）ほか塗装修繕工事（４橋合算）

	当 世 代	前 世 代
前払率	40	
諸経費工種	01 河川	
冬期歩掛補正	00 冬期割増なし	
契約保証補正	01 金銭的保証	
施工地域補正	00 補正なし	
現場環境改善費	00 必要無し	
週休二日補正	01 月単位	
復興係数（共通仮設費）	01 補正あり １．３	
復興係数（現場管理費）	01 補正あり １．１	

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計１
	3	作業日数集計２
	4	作業日数集計３
	5	作業日数集計４
	6	作業日数集計５

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
本工事費					X1000
修繕費					Y1001
	1	式			
水管橋塗装修繕工事（４橋合算）					Y2001
	1	式			
塗装修繕工					Y3001
	1	式			
古川水管橋（上流）塗装修繕　直接工事費					F0001 00
	1	式			
東根川水管橋（下流）塗装修繕　直接工事費					F0002 00
	1	式			
伝樋川水管橋塗装修繕　直接工事費					F0003 00
	1	式			
木幡川水管橋塗装修繕　直接工事費					F0004 00
	1	式			
直接工事費					
安全費					Z0008
		式			
工事名標示板加算額					S9990 00
	4.0	基			施工　第0 -0001号表
共通仮設費（率）					Z0009
		式			

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など		数　量	単位	単　価	金　額	備　考
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費			式			
工事原価						
一般管理費			式			
工事価格						
工事価格	（まるめ）					
消費税等相当額			式			
工事費計						

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
工事名標示板加算額 S9990	1	基			施工　第0 -0001号表
工事名標示板加算額 （木材使用・据付撤去含む）	1.000	基			T9940
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			
A=1　　土木工事標準積算基準　Ｉ－２－②－２４					

金抜き

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	単価名称・規格１・規格２	単　位	単　価	管　理　費　区　分
F0001	古川水管橋（上流）塗装修繕　直接工事費	式		全間接費対象額
F0002	東根川水管橋（下流）塗装修繕　直接工事費	式		全間接費対象額
F0003	伝樋川水管橋塗装修繕　直接工事費	式		全間接費対象額
F0004	木幡川水管橋塗装修繕　直接工事費	式		全間接費対象額

金抜き

総 括 情 報 表

事務所	B1 福島地方水道用水供給企業
設計書名	実施設計書　　当初　00000000090
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1 実施単価
適用単価地区	13 C（県北３）地区
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 土木工事
ファイル名	令和８年度 古川水管橋（上流）塗装修繕工事

	当 世 代	前 世 代
前払率		
諸経費工種	01 河川	
冬期歩掛補正	00 冬期割増なし	
契約保証補正	03 補正なし	
施工地域補正	00 補正なし	
現場環境改善費	00 必要無し	
週休二日補正	01 月単位	
ＩＣＴ施工補正	00 ＩＣＴ補正なし	
復興係数（共通仮設費）	01 補正あり １．３	
復興係数（現場管理費）	01 補正あり １．１	

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計１
	3	作業日数集計２
	4	作業日数集計３
	5	作業日数集計４
	6	作業日数集計５

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
本工事費					X1000
修繕費					Y1000000001
水管橋塗装修繕工事					Y2001
溶接修繕工					Y3003
溶接工					Y4010
	3.0	m			
現場溶接 すみ肉脚長6㎜					SPD419 00
	1.0	m			施工　第0 -0001号表
塗装修繕工					Y3001
塗装工					Y4001
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　清掃・水洗い					S7321 00
	66.1	㎡			施工　第0 -0002号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　素地調整　３種ケレンC					S7321 00
	66.1	㎡			施工　第0 -0003号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)					S7321 00
	66.1	㎡			施工　第0 -0004号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)					S7321 00
	66.1	㎡			施工　第0 -0004号表

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	66.1	㎡2			S7321 00 施工　第0 -0005号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	66.1	㎡2			S7321 00 施工　第0 -0006号表
仮設工					Y100U007138
仮設工					Y2138007139
仮設足場					Y3001
仮設足場	342.6	掛㎡2			Y4001
手摺先行型枠組足場/単管足場/単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場　安全ネット有 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ　排ｶﾞｽ対策(第3基)低騒音型使用	1.0	掛㎡2			S1940 00 施工　第0 -0007号表
シート張り防護工	221.6	ｍ2			Y4002
シート張防護工 両側朝顔	1.0	㎡2			S6043 00 施工　第0 -0008号表
仮水路工					Y3290007236
仮設排水管据付・撤去	15.0	m			Y444W007237
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） 据　付 高密度ポリエチレン管　φ９００無孔管	1.0	m			V0003 00 施工　第0 -0009号表

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） 撤　去 高密度ポリエチレン管　φ９００無孔管	1.0	m			V0004 00 施工　第0 -0010号表
土のう積	27.0	袋			Y45UT009154
大型土のう据付・撤去 作業半径　６m以下 設置・撤去高さ　－３m≦H≦２m	1.0	袋			S5705 00 施工　第0 -0011号表
大型土のう製作・設置（バックホウ設置） 購入土　作業半径５m以下 設置面高さ　－３m≦H≦２m	1.0	袋			S5710 00 施工　第0 -0013号表
残土運搬	27.0	m3			Y4002
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ	1.0	m3			SPA105 00 施工　第0 -0015号表
整地 残土受入れ地での処理	1.0	m3			SPA109 00 施工　第0 -0016号表
防護施設工	15.0	m			Y4011
フェンス撤去	1.0	m			V0001 00 施工　第0 -0017号表
フェンス再設置	1.0	m			V0002 00 施工　第0 -0018号表
産業廃棄物処理工					Y3002
産業廃棄物運搬（廃プラスチック類）	0.1	t			Y4003

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し					SPA084 00
	1.0	t			施工　第0 -0019号表
現場発生品及び支給品運搬 DID区間なし					SPA082 00
	1.0	t			施工　第0 -0020号表
産業廃棄物処分（廃プラスチック類）					Y4004
	0.2	m3			
＊調整データ＊					#0040 A=1,B=1,C=7
		調整式			
処分料（中間処理） 廃プラスチック類 【処】恵和興業（株）					T9550 00
	1.0	m3			
交通管理工					Y3001
交通誘導警備員Ｂ					Y45WA000038
	18.0	人日			
交通誘導警備員Ｂ [0.907]					R0900 00
	1.0	人			
直接工事費					
安全費					Z0002
		式			
工事名標示板加算額 （木材使用・据付撤去含む）					T9940 00
	1.0	基			
共通仮設費（率）					Z0009
		式			

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など		数　量	単位	単　価	金　額	備　考
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費			式			
工事原価						
一般管理費			式			
工事価格						
工事価格	（まるめ）					
消費税等相当額			式			
工事費計						

金抜き

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場溶接 SPD419 すみ肉脚長6㎜ 標準単価： 11,180　機械構成比： 0.00%　労務構成比： 100.00%			施工　第0 -0001号表 1 材料構成比： 0.00%　市場単価構成比：	m 0.00%
R0250 溶接工 [0.835]		78.61%	TPRA065 溶接工	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		16.63%	TPR0010 土木一般世話役	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　すみ肉脚長6㎜ C=1　土木工事標準積算基準　Ⅳ－３－⑪－７				

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　清掃・水洗い	1	m2			施工　第0 -0002号表
塗替塗装 　清掃水洗い 機・労・材 昼間単価 　時間的制約 無 　週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ01
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=34　塗替　清掃・水洗い B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　VI－１－③－２					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　素地調整　３種ケレンC	1	m2			施工　第0 -0003号表
塗替塗装　素地調整 　３種ケレンC 機・労・材 昼間単価 　時間的制約 無 　週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ16
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=39　塗替　素地調整　３種ケレンC B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　VI－１－③－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)	1	m2			施工　第0 -0004号表
塗替塗装　下塗 変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料 はけﾛｰﾗ ２００×２層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ28
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=43　塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層) B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	1	m2			施工　第0 -0005号表
塗替塗装　中塗　弱溶剤形ふっ素 はけﾛｰﾗ 淡彩　１４０×１層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ64
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=55　塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	1	m2			施工　第0 -0006号表
塗替塗装　上塗　弱溶剤形ふっ素 はけﾛｰﾗ 淡彩　１２０×１層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ91
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=64　塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
手摺先行型枠組足場/単管足場/単管傾斜足場 S1940 手摺先行型枠組足場　安全ネット有 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ　排ｶﾞｽ対策(第3基)低騒音型使用	100	掛m2			施工　第0 -0007号表
土木一般世話役 [0.753]	1.600	人			R0010
とび工 [0.864]	8.500	人			R0270
普通作業員 [0.842]	1.300	人			R0030
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料　油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型　25t吊	1.400	日			K2535
諸雑費	31.000	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	掛m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	掛m2			
A=2　　手摺先行型枠組足場　安全ネット有 C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑦－２					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
シート張防護工 S6043 両側朝顔	1	m2			施工　第0 -0008号表
橋梁特殊工（設置作業） [0.852]	0.007	人			R0520
橋梁特殊工（撤去作業） [0.852]	0.004	人			R0520
シート張防護材賃料	1.000	式			
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　　両側朝顔 B=1　　防護部を供用している月数 C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅳ－７－③－３９					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） V0003 据　付 高密度ポリエチレン管　φ９００無孔管	100.0	m			施工　第0 -0009号表 特単単価適用日：08年09月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.5	人			R0010
普通作業員 [0.842]	1.5	人			R0030
高密度ポリエチレン管（シングル） Φ９００　無孔管 42600*0.5 建設物価2026年7月P.388	100.0	m			F0002
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） V0004 撤　去 高密度ポリエチレン管　φ９００無孔管	100.0	m			施工　第0 -0010号表 特単単価適用日：08年09月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.25	人			R0010
普通作業員 [0.842]	0.75	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう据付・撤去 S5705 作業半径　6m以下 設置・撤去高さ　－3m≦H≦2m	10	袋			施工　第0 -0011号表
土木一般世話役 [0.753]	0.087	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.087	人			R0020
バックホウ運転（クレーン機能付） 機－２８ ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3（平積0.6m3）	0.087	日			SK728 施工　第0-0012号表
諸雑費	0.400	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=2　撤去 B=1　作業半径　6m以下 E=1　設置・撤去高さ　－3m≦H≦2m F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑩－８					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
バックホウ運転（クレーン機能付） SK728 機－２８ ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3 (平積0.6m3)	1	日			施工　第0 -0012号表
運転手（特殊） [0.788]	1.000	人			R0120
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	101.000	L			T0250
バックホウ［ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ機能付］2.9ｔ吊 山積０．８m3（平積０．６m3）	1.210	供用日			K9205
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3 (平積0.6m3) B=1　運転労務数量 C=101　燃料消費量 D=1.21　賃料数量 E=7　超低騒音 排ｶﾞｽ対策型(2014年規制)　使用					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
大型土のう製作・設置（バックホウ設置） S5710 購入土　作業半径５m以下 設置面高さ　－３m≦H≦２m	10	袋			施工　第0 -0013号表
土木一般世話役 [0.753]	0.294	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.294	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.294	人			R0030
大型土のう φ１１０㎝×１０８㎝	10.000	枚			T0895
土砂	10.000	m3			
バックホウ運転（クレーン機能付） 機－２８ ｸﾛｰﾗ型後方超小 2.9t吊 山0.45m3(平0.35m3)	0.294	日			SK728 施工　第0-0014号表
諸雑費	1.000	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　購入土 B= C=3　作業半径５m以下 F=1　設置面高さ　－３m≦H≦２m G=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑩－７					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
バックホウ運転（クレーン機能付） SK728 機－２８ ｸﾛｰﾗ型後方超小 2.9t吊 山0.45m3(平0.35m3)	1	日			施工　第0 -0014号表
運転手（特殊） [0.788]	1.000	人			R0120
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	63.000	L			T0250
バックホウ［クローラ・後方超小旋回］賃料 クレーン付き	1.280	供用日			KQ051
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=5　ｸﾛｰﾗ型後方超小 2.9t吊 山0.45m3(平0.35m3) B=1　運転労務数量 C=63　燃料消費量 D=1.28　賃料数量 E=7　超低騒音 排ｶﾞｽ対策型(2014年規制)　使用					

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
土砂等運搬 SPA105 標準 標準単価： 641.88　機械構成比：	バックホウ 44.67%　労務構成比：	40.44%	施工　第0 -0015号表 1 材料構成比： 14.89%　市場単価構成比：	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		44.67%	TPMA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	
RO130 運転手（一般） [0.813]		40.44%	TPRO130 運転手（一般）	
TO250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		14.89%	TPTO250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　標準 B=1　バックホウ C=1　土砂(岩塊･玉石混り土含む) D=1　DID区間なし E=6　2.0km以下				
F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－１３				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
整地 SPA109 残土受入れ地での処理 標準単価：　127.07　機械構成比：　22.45%　労務構成比：　52.33%			施工　第0 -0016号表 1 材料構成比：　25.22%　市場単価構成比：　0.00%	㎥
K9203 バックホウ［クローラ型］ 山積０．８㎥（平積０．６㎥）		22.45%	TPK9203 バックホウ［クローラ型］賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		52.33%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		25.22%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　残土受入れ地での処理 D=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－２０				

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
フェンス撤去 V0001	1.0	m			施工　第0 -0017号表 特単単価適用日：08年09月01日
特殊作業員 [0.780]	0.039	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.033	人			R0030
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
フェンス再設置 V0002	1.0	m			施工　第0 -0018号表 特単単価適用日：08年09月01日
特殊作業員 [0.780]	0.078	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.065	人			R0030
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し SPA084 標準単価：　9,566.6　機械構成比：　13.73%　労務構成比：　83.47%			施工　第0 -0019号表 1 材料構成比：　2.80%　市場単価構成比：　0.00%	t
MA444 トラック［クレーン装置付］		13.73%	TPMA444 トラック［クレーン装置付］	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		41.98%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.780]		41.08%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		2.80%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1 B=1　　土木工事標準積算基準　Ｉ－２－③－２				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場発生品及び支給品運搬 SPA082 標準単価：　13,787　機械構成比：	DID区間なし 13.79%　労務構成比：	83.40%	施工　第0 -0020号表 1 材料構成比：　2.81%　市場単価構成比：	t 0.00%
MA444 トラック［クレーン装置付］		13.79%	TPMA444 トラック［クレーン装置付］	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		42.15%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.780]		41.25%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		2.81%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1 B=1　DID区間なし C=19　28.0km以下 D=1　土木工事標準積算基準　Ｉ－２－③－４				

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	単価名称・規格１・規格２	単　位	単　価	管　理　費　区　分
T9550	処分料（中間処理） 廃プラスチック類 【処】恵和興業（株）	m3		直接工事費内の処分費

金抜き

総 括 情 報 表

事務所	B1 福島地方水道用水供給企業
設計書名	実施設計書　　当初　00000000099
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1 実施単価
適用単価地区	13 C（県北３）地区
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 土木工事
ファイル名	令和８年度 東根川水管橋（下流）塗装修繕工事

	当 世 代	前 世 代
前払率		
諸経費工種	01 河川	
冬期歩掛補正	00 冬期割増なし	
契約保証補正	03 補正なし	
施工地域補正	00 補正なし	
現場環境改善費	00 必要無し	
週休二日補正	01 月単位	
ＩＣＴ施工補正	00 ＩＣＴ補正なし	
復興係数（共通仮設費）	01 補正あり １．３	
復興係数（現場管理費）	01 補正あり １．１	

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計１
	3	作業日数集計２
	4	作業日数集計３
	5	作業日数集計４
	6	作業日数集計５

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
本工事費					X1000
修繕費					Y1000000001
水管橋塗装修繕工事					Y2001
塗装修繕工					Y3001
塗装工					Y4001
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　清掃・水洗い	40.8	m2			S7321 00 施工　第0 -0001号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　素地調整　３種ケレンC	40.8	m2			S7321 00 施工　第0 -0002号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)	40.8	m2			S7321 00 施工　第0 -0003号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)	40.8	m2			S7321 00 施工　第0 -0003号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	40.8	m2			S7321 00 施工　第0 -0004号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	40.8	m2			S7321 00 施工　第0 -0005号表
仮設工					Y100U007138

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仮設工					Y2138007139
仮設足場					Y3001
仮設足場					Y4001
	48.7	掛㎡2			
手摺先行型枠組足場/単管足場/単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場　安全ネット有 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ　排ｶﾞｽ対策(第3基)低騒音型使用					S1940 00
	1.0	掛㎡2			施工　第0 -0006号表
シート張り防護工					Y4002
	70.6	ｍ2			
シート張防護工 両側朝顔					S6043 00
	1.0	㎡2			施工　第0 -0007号表
仮水路工					Y3290007236
仮設排水管据付・撤去 高密度ポリエチレン管（シングル） Φ１０００　無孔管					Y444W007237
	20.0	m			
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） 据　付 高密度ポリエチレン管　φ１０００無孔管					S5400 00
	1.0	m			施工　第0 -0008号表
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） 撤　去 高密度ポリエチレン管　φ１０００無孔管					S5400 00
	1.0	m			施工　第0 -0009号表
仮設排水管据付・撤去 高密度ポリエチレン管（シングル） Φ７００　無孔管					Y444W007237
	5.0	m			
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） 据　付 高密度ポリエチレン管　φ７００無孔管					V0001 00
	1.0	m			施工　第0 -0010号表

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） 撤　去 高密度ポリエチレン管　φ７００無孔管	1.0	m			V0002 00 施工　第0 -0011号表
土のう積	42.5	袋			Y45UT009154
大型土のう据付・撤去 作業半径　６m以下 設置・撤去高さ　－３m≦H≦２m	1.0	袋			S5705 00 施工　第0 -0012号表
大型土のう製作・設置（バックホウ設置） 購入土　作業半径５m以下 設置面高さ　－３m≦H≦２m	1.0	袋			S5710 00 施工　第0 -0014号表
残土運搬	42.5	m3			Y4002
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ	1.0	m3			SPA105 00 施工　第0 -0016号表
整地 残土受入れ地での処理	1.0	m3			SPA109 00 施工　第0 -0017号表
産業廃棄物処理工					Y3002
産業廃棄物運搬（廃プラスチック類）	0.1	t			Y4003
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	1.0	t			SPA084 00 施工　第0 -0018号表
現場発生品及び支給品運搬 DID区間なし	1.0	t			SPA082 00 施工　第0 -0019号表
産業廃棄物処分（廃プラスチック類）	0.3	m3			Y4004

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
＊調整データ＊					#0040 A=1,B=1,C=7
		調整式			
処分料（中間処理） 廃プラスチック類 【処】恵和興業（株）					T9550 00
	1.0	m3			
敷鉄板設置工					Y4005
	46.5	m2			
敷鉄板設置工					S5730 00
	1.0	m2			施工　第0 -0020号表
敷鉄板撤去工					S5730 00
	1.0	m2			施工　第0 -0022号表
作業ヤード整備工					Y4009
	37.0	m3			
路体（築堤）盛土 2.5m以上4.0m未満					SPA113 00
	1.0	m3			施工　第0 -0023号表
購入土 良質土（ほぐした土量）					T8350 00
	1.33	m3			
土砂等運搬					Y4010
	37.0	m3			
積込（ルーズ） 土砂 小規模(標準)					SPA125 00
	1.0	m3			施工　第0 -0024号表
土砂等運搬 小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ					SPA105 00
	1.0	m3			施工　第0 -0025号表
敷鉄板賃料					Y4006
	1.0	式			

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
敷鉄板（鋼板）22×1524×3048（802kg/枚） 1～９０日	200.0	枚・日			K2430 00
敷鉄板（鋼板）整備費 22×1524×3048（802kg／枚）	10.0	枚			K2450 00
運搬費	1.0	式			Y4007
仮設材の運搬費 運搬質量　8ｔ 運搬距離（片道）2.2km	1.0	式			S0070 00 施工　第0 -0026号表
仮設材等の積込み、取卸し費 積込みのみ	8.0	ｔ			S0072 00 施工　第0 -0027号表
仮設材等の積込み、取卸し費 取卸しのみ	8.0	ｔ			S0072 00 施工　第0 -0028号表
交通管理工					Y3001
交通誘導警備員Ｂ	12	人日			Y45WA000038
交通誘導警備員Ｂ [0.907]	1.0	人			R0900 00
直接工事費					
安全費		式			Z0002
工事名標示板加算額 （木材使用・据付撤去含む）	1.0	基			T9940 00

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
共通仮設費（率）					Z0009
		式			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
		式			
工事原価					
一般管理費					
		式			
工事価格					
工事価格　（まるめ）					
消費税等相当額					
		式			
工事費計					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　清掃・水洗い	1	m2			施工　第0 -0001号表
塗替塗装 　清掃水洗い 機・労・材 昼間単価 　時間的制約 無 　週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ01
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=34　塗替　清掃・水洗い B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　VI－１－③－２					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　素地調整　３種ケレンC	1	m2			施工　第0 -0002号表
塗替塗装　素地調整 　３種ケレンC 機・労・材 昼間単価 　時間的制約 無 　週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ16
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=39　塗替　素地調整　３種ケレンC B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　VI－１－③－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)	1	m2			施工　第0 -0003号表
塗替塗装　下塗 変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料 はけﾛｰﾗ ２００×２層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ28
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=43　塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層) B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	1	m2			施工　第0 -0004号表
塗替塗装　中塗　弱溶剤形ふっ素 はけﾛｰﾗ 淡彩　１４０×１層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ64
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=55　塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	1	m2			施工　第0 -0005号表
塗替塗装　上塗　弱溶剤形ふっ素 はけﾛｰﾗ 淡彩　１２０×１層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m２			TDJ91
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=64　塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
手摺先行型枠組足場/単管足場/単管傾斜足場 S1940 手摺先行型枠組足場　安全ネット有 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ　排ｶﾞｽ対策(第3基)低騒音型使用	100	掛m2			施工　第0 -0006号表
土木一般世話役 [0.753]	1.600	人			R0010
とび工 [0.864]	8.500	人			R0270
普通作業員 [0.842]	1.300	人			R0030
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料　油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型　25t吊	1.400	日			K2535
諸雑費	31.000	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	掛m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	掛m2			
A=2　　手摺先行型枠組足場　安全ネット有 C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑦－２					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
シート張防護工 S6043 両側朝顔	1	m2			施工　第0 -0007号表
橋梁特殊工（設置作業） [0.852]	0.007	人			R0520
橋梁特殊工（撤去作業） [0.852]	0.004	人			R0520
シート張防護材賃料	1.000	式			
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　　両側朝顔 B=1　　防護部を供用している月数 C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅳ－７－③－３９					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） S5400 据　付 高密度ポリエチレン管　φ１０００無孔管	100	m			施工　第0 -0008号表
土木一般世話役 [0.753]	0.500	人			R0010 0.5*1
普通作業員 [0.842]	1.500	人			R0030 1.5*1
暗渠排水管　波状管 高密度ポリエチレン管（シングル）φ1000	100.000	m			T5424
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　　据　付 B=3　　高密度ポリエチレン管　φ１０００無孔管 C=1　　１回使用の場合 D=1　　土木工事標準積算基準　Ⅶ－６－①－１					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） S5400 撤　去 高密度ポリエチレン管　φ１０００無孔管	100	m			施工　第0 -0009号表
土木一般世話役 [0.753]	0.250	人			R0010 0.5*0.5
普通作業員 [0.842]	0.750	人			R0030 1.5*0.5
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　撤　去 B=3　高密度ポリエチレン管　φ１０００無孔管 C=1　１回使用の場合 D=1　土木工事標準積算基準　Ⅶ－６－①－１					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） V0001 据　付 高密度ポリエチレン管　φ７００無孔管	100.0	m			施工　第0 -0010号表 特単単価適用日：08年09月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.5	人			R0010
普通作業員 [0.842]	1.5	人			R0030
高密度ポリエチレン管（シングル） Φ７００　無孔管 27000*0.5 建設物価2026年7月P.388	100.0	m			F0001
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） V0002 撤　去 高密度ポリエチレン管　φ７００無孔管	100.0	m			施工　第0 -0011号表 特単単価適用日：08年09月01日
土木一般世話役 [0.753]	0.25	人			R0010
普通作業員 [0.842]	0.75	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう据付・撤去 S5705 作業半径　6m以下 設置・撤去高さ　－3m≦H≦2m	10	袋			施工　第0 -0012号表
土木一般世話役 [0.753]	0.087	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.087	人			R0020
バックホウ運転（クレーン機能付） 機－２８ ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3（平積0.6m3）	0.087	日			SK728 施工　第0-0013号表
諸雑費	0.400	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=2　撤去 B=1　作業半径　6m以下 E=1　設置・撤去高さ　－3m≦H≦2m F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑩－８					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
バックホウ運転（クレーン機能付） SK728 機－２８ ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3 (平積0.6m3)	1	日			施工　第0 -0013号表
運転手（特殊） [0.788]	1.000	人			R0120
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	101.000	L			T0250
バックホウ［ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ機能付］2.9ｔ吊 山積０．８m3（平積０．６m3）	1.210	供用日			K9205
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3 (平積0.6m3) B=1　運転労務数量 C=101　燃料消費量 D=1.21　賃料数量 E=7　超低騒音 排ｶﾞｽ対策型(2014年規制)　使用					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
大型土のう製作・設置（バックホウ設置） S5710 購入土　作業半径５m以下 設置面高さ　－３m≦H≦２m	10	袋			施工　第0 -0014号表
土木一般世話役 [0.753]	0.294	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.294	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.294	人			R0030
大型土のう φ１１０㎝×１０８㎝	10.000	枚			T0895
土砂	10.000	m3			
バックホウ運転（クレーン機能付） 機－２８ ｸﾛｰﾗ型後方超小 2.9t吊 山0.45m3(平0.35m3)	0.294	日			SK728 施工　第0-0015号表
諸雑費	1.000	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　購入土 B= C=3　作業半径５m以下 F=1　設置面高さ　－３m≦H≦２m G=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑩－７					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
バックホウ運転（クレーン機能付） SK728 機－２８ ｸﾛｰﾗ型後方超小 2.9t吊 山0.45m3(平0.35m3)	1	日			施工　第0 -0015号表
運転手（特殊） [0.788]	1.000	人			R0120
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	63.000	L			T0250
バックホウ［クローラ・後方超小旋回］賃料 クレーン付き	1.280	供用日			KQ051
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=5　ｸﾛｰﾗ型後方超小 2.9t吊 山0.45m3(平0.35m3) B=1　運転労務数量 C=63　燃料消費量 D=1.28　賃料数量 E=7　超低騒音 排ｶﾞｽ対策型(2014年規制)　使用					

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
土砂等運搬 SPA105 標準 標準単価：　641.88　機械構成比：　バックホウ 44.67%　労務構成比：　40.44%			施工　第0 -0016号表 1 材料構成比：　14.89%　市場単価構成比：　0.00%	㎥
MA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		44.67%	TPMA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	
RO130 運転手（一般） [0.813]		40.44%	TPRO130 運転手（一般）	
TO250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		14.89%	TPTO250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　標準 B=1　バックホウ C=1　土砂(岩塊･玉石混り土含む) D=1　DID区間なし E=6　2.0km以下				
F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－１３				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
整地 SPA109 残土受入れ地での処理 標準単価：　127.07　機械構成比：　22.45%　労務構成比：　52.33%			施工　第0 -0017号表 1 材料構成比：　25.22%　市場単価構成比：	㎥ 0.00%
K9203 バックホウ［クローラ型］ 山積０．８㎥（平積０．６㎥）		22.45%	TPK9203 バックホウ［クローラ型］賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		52.33%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		25.22%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　残土受入れ地での処理 D=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－２０				

金抜き

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し SPA084 標準単価：　9,566.6　機械構成比：　13.73%　労務構成比：　83.47%			施工　第0 -0018号表 1 材料構成比：　2.80%　市場単価構成比：　0.00%	t
MA444 トラック［クレーン装置付］		13.73%	TPMA444 トラック［クレーン装置付］	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		41.98%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.780]		41.08%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		2.80%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1 B=1　　土木工事標準積算基準　Ｉ－２－③－２				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場発生品及び支給品運搬 SPA082 標準単価： 15,982　機械構成比：	DID区間なし 13.79%　労務構成比：	83.40%	施工　第0 -0019号表 1 材料構成比： 2.81%　市場単価構成比：	t 0.00%
MA444 トラック［クレーン装置付］		13.79%	TPMA444 トラック［クレーン装置付］	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		42.15%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.780]		41.25%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		2.81%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1 B=1　DID区間なし C=21　32.5㎞以下 D=1　土木工事標準積算基準　Ⅰ－２－③－４				

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
敷鉄板設置工 S5730	100	m2			施工　第0 -0020号表
土木一般世話役 [0.753]	0.152	人			R0010
とび工 [0.864]	0.152	人			R0270
普通作業員 [0.842]	0.152	人			R0030
バックホウ運転（クレーン機能付） 機－２８ ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3（平積0.6m3）	0.152	日			SK728 施工　第0-0021号表
諸雑費	1.000	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　　設置 C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑯－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
バックホウ運転（クレーン機能付） SK728 機－２８ ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3 (平積0.6m3)	1	日			施工　第0 -0021号表
運転手（特殊） [0.788]	1.000	人			R0120
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	119.000	L			T0250
バックホウ［ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ機能付］2.9ｔ吊 山積０．８m3（平積０．６m3）	1.060	供用日			K9205
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3 (平積0.6m3) B=1　運転労務数量 C=119　燃料消費量 D=1.06　賃料数量 E=6　排出ガス対策型（２０１４年規制）　使用					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
敷鉄板撤去工 S5730	100	m2			施工　第0 -0022号表
土木一般世話役 [0.753]	0.143	人			R0010
とび工 [0.864]	0.143	人			R0270
普通作業員 [0.842]	0.143	人			R0030
バックホウ運転（クレーン機能付） 機－２８ ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3（平積0.6m3）	0.143	日			SK728 施工　第0-0021号表
諸雑費	1.000	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=2　　撤去 C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑯－２					

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
路体（築堤）盛土 SPA113 2.5m以上4.0m未満 標準単価：　857.6　機械構成比：　15.30%　労務構成比：　76.16%			施工　第0 -0023号表 1 材料構成比：　8.54%　市場単価構成比：　0.00%	m3
KQ048 バックホウ［クローラ・後方超小旋回］賃料		8.01%	TPKQ048 バックホウ［クローラ・後方超小旋回］賃料	
K2610 振動ローラ（舗装用･搭乗式ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型） ３－４ｔ		7.29%	TPK2610 振動ローラ［搭乗式・コンバインド型］賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		67.28%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.842]		8.88%	TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		8.54%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=2　2.5m以上4.0m未満 D=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－２２				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
積込（ルーズ） SPA125 土砂 標準単価：　1,093.9　機械構成比：　26.01%　労務構成比：　62.89%	小規模(標準)		施工　第0 -0024号表 1 材料構成比：　11.10%　市場単価構成比：　0.00%	㎥
MA181 バックホウ（クローラ型）［標準型］ 排ガス２次		26.01%	TPMA181 バックホウ（クローラ型）［標準型］ 排ガス２次	
RO120 運転手（特殊） [0.788]		62.89%	TPRO120 運転手（特殊）	
TO250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		11.10%	TPTO250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　土砂 B=4　小規模(標準) C=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－２７				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
土砂等運搬 SPA105 小規模 標準単価： 1,334.5　機械構成比：	バックホウ 26.52%　労務構成比：	61.90%	施工　第0 -0025号表 1 材料構成比： 11.58%　市場単価構成比：	m3 0.00%
MA402 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		26.52%	TPMA402 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	
RO130 運転手（一般） [0.813]		61.90%	TPRO130 運転手（一般）	
TO250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		11.58%	TPTO250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=2　小規模 B=5　バックホウ C=1　土砂(岩塊･玉石混り土含む) D=1　DID区間なし E=7　2.5km以下				
F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－１３				

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設材の運搬費 S0070 運搬質量　８ｔ 運搬距離（片道）2.2km	1	式			施工　第0 -0026号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=2.2　運搬距離（片道距離：km） B=1　製品長　１２m以内 C=8　運搬質量（ｔ） D=1　運賃割増率（Ｆ１～Ｆ２） E=					
F=1　土木工事標準積算基準　Ｉ－２－②－１６					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
仮設材等の積込み、取卸し費 S0072 積込みのみ	1	t			施工　第0 -0027号表
仮設材の積込み、取卸し費	1.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　積込みのみ B=1　土木工事標準積算基準　Ｉ－２－②－１７					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設材等の積込み、取卸し費 S0072 取卸しのみ	1	t			施工　第0 -0028号表
仮設材の積込み、取卸し費	1.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=2　　取卸しのみ B=1　　土木工事標準積算基準　Ｉ－２－②－１７					

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	単価名称・規格１・規格２	単　位	単　価	管　理　費　区　分
T9550	処分料（中間処理） 廃プラスチック類 【処】恵和興業（株）	m3		直接工事費内の処分費

金抜き

総 括 情 報 表

事務所	B1 福島地方水道用水供給企業
設計書名	実施設計書　　当初　00000000099
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1 実施単価
適用単価地区	13 C（県北３）地区
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 土木工事
ファイル名	令和８年度 伝樋川水管橋塗装修繕工事

	当 世 代	前 世 代
前払率		
諸経費工種	01 河川	
冬期歩掛補正	00 冬期割増なし	
契約保証補正	03 補正なし	
施工地域補正	00 補正なし	
現場環境改善費	00 必要無し	
週休二日補正	01 月単位	
ＩＣＴ施工補正	00 ＩＣＴ補正なし	
復興係数（共通仮設費）	01 補正あり １．３	
復興係数（現場管理費）	01 補正あり １．１	

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計１
	3	作業日数集計２
	4	作業日数集計３
	5	作業日数集計４
	6	作業日数集計５

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
本工事費					X1000
修繕費					Y1000000001
水管橋塗装修繕工事					Y2001
塗装修繕工					Y3001
塗装工					Y4001
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　清掃・水洗い	31.6	m2			S7321 00 施工　第0 -0001号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　素地調整　3種ケレンC	31.6	m2			S7321 00 施工　第0 -0002号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)	31.6	m2			S7321 00 施工　第0 -0003号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)	31.6	m2			S7321 00 施工　第0 -0003号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	31.6	m2			S7321 00 施工　第0 -0004号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	31.6	m2			S7321 00 施工　第0 -0005号表
仮設工					Y100U007138

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仮設工					Y2138007139
仮設足場					Y3001
仮設足場					Y4001
	10.5	掛m2			
手摺先行型枠組足場/単管足場/単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場　安全ネット有 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ　排ｶﾞｽ対策(第3基)低騒音型使用					S1940 00
	1.0	掛m2			施工　第0 -0006号表
シート張り防護工					Y4002
	29.5	m2			
シート張防護工 両側朝顔					S6043 00
	1.0	m2			施工　第0 -0007号表
交通管理工					Y3001
交通誘導警備員B					Y45WA000038
	4.0	人日			
交通誘導警備員B [0.907]					R0900 00
	1.0	人			
直接工事費					
安全費					Z0002
		式			
工事名標示板加算額 （木材使用・据付撤去含む）					T9940 00
	1.0	基			

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
共通仮設費（率）					Z0009
		式			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
		式			
工事原価					
一般管理費					
		式			
工事価格					
工事価格　（まるめ）					
消費税等相当額					
		式			
工事費計					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　清掃・水洗い	1	m2			施工　第0 -0001号表
塗替塗装 　清掃水洗い 機・労・材 昼間単価 　時間的制約 無 　週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ01
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=34　塗替　清掃・水洗い B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　VI－１－③－２					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　素地調整　３種ケレンC	1	m2			施工　第0 -0002号表
塗替塗装　素地調整 　３種ケレンC 機・労・材 昼間単価 　時間的制約 無 　週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ16
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=39　塗替　素地調整　３種ケレンC B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　VI－１－③－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)	1	m2			施工　第0 -0003号表
塗替塗装　下塗 変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料 はけﾛｰﾗ ２００×２層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ28
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=43　塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層) B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	1	m2			施工　第0 -0004号表
塗替塗装　中塗　弱溶剤形ふっ素 はけﾛｰﾗ 淡彩　１４０×１層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ64
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=55　塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	1	m2			施工　第0 -0005号表
塗替塗装　上塗　弱溶剤形ふっ素 はけﾛｰﾗ 淡彩　１２０×１層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ91
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=64　塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
手摺先行型枠組足場/単管足場/単管傾斜足場 S1940 手摺先行型枠組足場　安全ネット有 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ　排ｶﾞｽ対策(第3基)低騒音型使用	100	掛m2			施工　第0 -0006号表
土木一般世話役 [0.753]	1.600	人			R0010
とび工 [0.864]	8.500	人			R0270
普通作業員 [0.842]	1.300	人			R0030
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料　油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型　25t吊	1.400	日			K2535
諸雑費	31.000	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	掛m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	掛m2			
A=2　　手摺先行型枠組足場　安全ネット有 C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑦－２					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
シート張防護工 S6043 両側朝顔	1	m2			施工　第0 -0007号表
橋梁特殊工（設置作業） [0.852]	0.007	人			R0520
橋梁特殊工（撤去作業） [0.852]	0.004	人			R0520
シート張防護材賃料	1.000	式			
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　　両側朝顔 B=1　　防護部を供用している月数 C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅳ－７－③－３９					

金抜き

総 括 情 報 表

事務所	B1 福島地方水道用水供給企業
設計書名	実施設計書　　当初　00000000099
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1 実施単価
適用単価地区	15 C 3（県北6）地区
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 土木工事
ファイル名	令和８年度 木幡川水管橋塗装修繕工事

	当 世 代	前 世 代
前払率		
諸経費工種	01 河川	
冬期歩掛補正	00 冬期割増なし	
契約保証補正	03 補正なし	
施工地域補正	00 補正なし	
現場環境改善費	00 必要無し	
週休二日補正	01 月単位	
ＩＣＴ施工補正	00 ＩＣＴ補正なし	
復興係数（共通仮設費）	01 補正あり １．３	
復興係数（現場管理費）	01 補正あり １．１	

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計１
	3	作業日数集計２
	4	作業日数集計３
	5	作業日数集計４
	6	作業日数集計５

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
本工事費					X1000
修繕費					Y1000000001
水管橋塗装修繕工事					Y2001
塗装修繕工					Y3001
塗装工					Y4001
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　清掃・水洗い	12.4	m2			S7321 00 施工　第0 -0001号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　素地調整　３種ケレンC	12.4	m2			S7321 00 施工　第0 -0002号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)	12.4	m2			S7321 00 施工　第0 -0003号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)	12.4	m2			S7321 00 施工　第0 -0003号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	12.4	m2			S7321 00 施工　第0 -0004号表
橋梁塗装工（塗替塗装） 塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	12.4	m2			S7321 00 施工　第0 -0005号表
仮設工					Y100U007138

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仮設工					Y2138007139
仮設足場					Y3001
仮設足場					Y4001
	24.3	掛㎡2			
手摺先行型枠組足場/単管足場/単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場　安全ネット有 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ　排ｶﾞｽ対策(第3基)低騒音型使用					S1940 00
	1.0	掛㎡2			施工　第0 -0006号表
シート張り防護工					Y4002
	31.5	ｍ2			
シート張防護工 両側朝顔					S6043 00
	1.0	㎡2			施工　第0 -0007号表
仮水路工					Y3290007236
仮設排水管据付・撤去					Y444W007237
	16.0	m			
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） 据　付 高密度ポリエチレン管　φ８００無孔管					S5400 00
	1.0	m			施工　第0 -0008号表
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） 撤　去 高密度ポリエチレン管　φ８００無孔管					S5400 00
	1.0	m			施工　第0 -0009号表
土のう積					Y45UT009154
	12.6	袋			
大型土のう据付・撤去 作業半径　６m以下 設置・撤去高さ　－３m≦H≦２m					S5705 00
	1.0	袋			施工　第0 -0010号表

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
大型土のう製作・設置（バックホウ設置） 購入土　作業半径5m以下 設置面高さ　－3m≦H≦2m	1.0	袋			S5710 00 施工　第0 -0012号表
残土運搬	12.6	m3			Y4002
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ	1.0	m3			SPA105 00 施工　第0 -0014号表
整地 残土受入れ地での処理	1.0	m3			SPA109 00 施工　第0 -0015号表
産業廃棄物処理工					Y3002
産業廃棄物運搬（廃プラスチック類）	0.1	t			Y4003
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	1.0	t			SPA084 00 施工　第0 -0016号表
現場発生品及び支給品運搬 DID区間なし	1.0	t			SPA082 00 施工　第0 -0017号表
産業廃棄物処分（廃プラスチック類）	0.1	m3			Y4004
＊調整データ＊		調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料（中間処理） 廃プラスチック類 【処】恵和興業（株）	1.0	m3			T9550 00
交通管理工					Y3001

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
交通誘導警備員B					Y45WA000038
	4.0	人日			
交通誘導警備員B [0.907]					R0900 00
	1.0	人			
直接工事費					
安全費					Z0002
		式			
工事名標示板加算額 （木材使用・据付撤去含む）					T9940 00
	1.0	基			
共通仮設費（率）					Z0009
		式			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
		式			
工事原価					
一般管理費					
		式			
工事価格					

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など		数　量	単位	単　価	金　額	備　考
工事価格	（まるめ）					
消費税等相当額			式			
工事費計						

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　清掃・水洗い	1	m2			施工　第0 -0001号表
塗替塗装 　清掃水洗い 機・労・材 昼間単価 　時間的制約 無 　週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ01
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=34　塗替　清掃・水洗い B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　VI－１－③－２					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　素地調整　３種ケレンC	1	m2			施工　第0 -0002号表
塗替塗装　素地調整 　３種ケレンC 機・労・材 昼間単価 　時間的制約 無 　週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ16
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=39　塗替　素地調整　３種ケレンC B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　VI－１－③－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層)	1	m2			施工　第0 -0003号表
塗替塗装　下塗 変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料 はけﾛｰﾗ ２００×２層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ28
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=43　塗替　弱ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(はけローラ)　(2層) B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	1	m2			施工　第0 -0004号表
塗替塗装　中塗　弱溶剤形ふっ素 はけﾛｰﾗ 淡彩　１４０×１層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ64
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=55　塗替　中塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
橋梁塗装工（塗替塗装） S7321 塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩	1	m2			施工　第0 -0005号表
塗替塗装　上塗　弱溶剤形ふっ素 はけﾛｰﾗ 淡彩　１２０×１層 機・労・材 昼間単価 時間的制約 無 週休二日月単位　補正係数1.01	1.000	m2			TDJ91
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=64　塗替　上塗り　ふっ素（はけローラ）　淡彩 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=5　補正係数無し E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－③－２					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
手摺先行型枠組足場/単管足場/単管傾斜足場 S1940 手摺先行型枠組足場　安全ネット有 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ　排ｶﾞｽ対策(第3基)低騒音型使用	100	掛m2			施工　第0 -0006号表
土木一般世話役 [0.753]	1.600	人			R0010
とび工 [0.864]	8.500	人			R0270
普通作業員 [0.842]	1.300	人			R0030
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料　油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型　25t吊	1.400	日			K2535
諸雑費	31.000	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	掛m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	掛m2			
A=2　　手摺先行型枠組足場　安全ネット有 C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑦－２					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
シート張防護工 S6043 両側朝顔	1	m2			施工　第0 -0007号表
橋梁特殊工（設置作業） [0.852]	0.007	人			R0520
橋梁特殊工（撤去作業） [0.852]	0.004	人			R0520
シート張防護材賃料	1.000	式			
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　　両側朝顔 B=1　　防護部を供用している月数 C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅳ－７－③－３９					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） S5400 据　付 高密度ポリエチレン管　φ８００無孔管	100	m			施工　第0 -0008号表
土木一般世話役 [0.753]	0.500	人			R0010 0.5*1
普通作業員 [0.842]	1.500	人			R0030 1.5*1
暗渠排水管　波状管 高密度ポリエチレン管（シングル）φ８００	100.000	m			T5422
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　　据　付 B=2　　高密度ポリエチレン管　φ８００無孔管 C=1　　１回使用の場合 D=1　　土木工事標準積算基準　Ⅶ－６－①－１					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設排水管（高密度ポリエチレン管） S5400 撤　去 高密度ポリエチレン管　φ８００無孔管	100	m			施工　第0 -0009号表
土木一般世話役 [0.753]	0.250	人			R0010 0.5*0.5
普通作業員 [0.842]	0.750	人			R0030 1.5*0.5
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　撤　去 B=2　高密度ポリエチレン管　φ８００無孔管 C=1　１回使用の場合 D=1　土木工事標準積算基準　Ⅶ－６－①－１					

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう据付・撤去 S5705 作業半径　6m以下 設置・撤去高さ　－3m≦H≦2m	10	袋			施工　第0 -0010号表
土木一般世話役 [0.753]	0.087	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.087	人			R0020
バックホウ運転（クレーン機能付） 機－２８ ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3（平積0.6m3）	0.087	日			SK728 施工　第0-0011号表
諸雑費	0.400	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=2　撤去 B=1　作業半径　6m以下 E=1　設置・撤去高さ　－3m≦H≦2m F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑩－８					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
バックホウ運転（クレーン機能付） SK728 機－２８ ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3 (平積0.6m3)	1	日			施工　第0 -0011号表
運転手（特殊） [0.788]	1.000	人			R0120
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	101.000	L			T0250
バックホウ［ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ機能付］2.9ｔ吊 山積０．８m3（平積０．６m3）	1.210	供用日			K9205
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　ｸﾛｰﾗ型　2.9t吊　山積0.8m3 (平積0.6m3) B=1　運転労務数量 C=101　燃料消費量 D=1.21　賃料数量 E=7　超低騒音 排ｶﾞｽ対策型(2014年規制)　使用					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
大型土のう製作・設置（バックホウ設置） S5710 購入土　作業半径５m以下 設置面高さ　－３m≦H≦２m	10	袋			施工　第0 -0012号表
土木一般世話役 [0.753]	0.294	人			R0010
特殊作業員 [0.780]	0.294	人			R0020
普通作業員 [0.842]	0.294	人			R0030
大型土のう φ１１０cm×１０８cm	10.000	枚			T0895
土砂	10.000	m3			
バックホウ運転（クレーン機能付） 機－２８ ｸﾛｰﾗ型後方超小 2.9t吊 山0.45m3(平0.35m3)	0.294	日			SK728 施工　第0-0013号表
諸雑費	1.000	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　購入土 B= C=3　作業半径５m以下 F=1　設置面高さ　－３m≦H≦２m G=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－５－⑩－７					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
バックホウ運転（クレーン機能付） SK728 機－２８ ｸﾛｰﾗ型後方超小 2.9t吊 山0.45m3(平0.35m3)	1	日			施工　第0 -0013号表
運転手（特殊） [0.788]	1.000	人			R0120
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	63.000	L			T0250
バックホウ［クローラ・後方超小旋回］賃料 クレーン付き	1.280	供用日			KQ051
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=5　ｸﾛｰﾗ型後方超小 2.9t吊 山0.45m3(平0.35m3) B=1　運転労務数量 C=63　燃料消費量 D=1.28　賃料数量 E=7　超低騒音 排ｶﾞｽ対策型(2014年規制)　使用					

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
土砂等運搬 SPA105 標準 標準単価：　641.88　機械構成比：	ﾊﾞｯｸﾎｳ 44.67%　労務構成比：	40.44%	施工　第0 -0014号表 1 材料構成比：　14.89%　市場単価構成比：	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		44.67%	TPMA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	
R0130 運転手（一般） [0.813]		40.44%	TPR0130 運転手（一般）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		14.89%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　標準 B=1　ﾊﾞｯｸﾎｳ C=1　土砂(岩塊･玉石混り土含む) D=1　DID区間なし E=6　2.0km以下				
F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－１３				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
整地 SPA109 残土受入れ地での処理 標準単価：　127.07　機械構成比：　22.45%　労務構成比：　52.33%			施工　第0 -0015号表 1 材料構成比：　25.22%　市場単価構成比：	㎥ 0.00%
K9203 バックホウ［クローラ型］ 山積０．８㎥（平積０．６m3）		22.45%	TPK9203 バックホウ［クローラ型］賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		52.33%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		25.22%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　残土受入れ地での処理 D=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－２０				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し SPA084 標準単価：　9,566.6　機械構成比：　13.73%　労務構成比：　83.47%			施工　第0 -0016号表 1 材料構成比：　2.80%　市場単価構成比：　0.00%	t
MA444 トラック［クレーン装置付］		13.73%	TPMA444 トラック［クレーン装置付］	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		41.98%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.780]		41.08%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		2.80%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1 B=1　　土木工事標準積算基準　Ｉ－２－③－２				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場発生品及び支給品運搬 SPA082 標準単価： 15,982　機械構成比：	DID区間なし 13.79%　労務構成比：	83.40%	施工　第0 -0017号表 1 材料構成比： 2.81%　市場単価構成比：	t 0.00%
MA444 トラック［クレーン装置付］		13.79%	TPMA444 トラック［クレーン装置付］	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		42.15%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.780]		41.25%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		2.81%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1 B=1　DID区間なし C=21　32.5㎞以下 D=1　土木工事標準積算基準　Ⅰ－２－③－４				

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	単価名称・規格１・規格２	単　位	単　価	管　理　費　区　分
T9550	処分料（中間処理） 廃プラスチック類 【処】恵和興業（株）	m3		直接工事費内の処分費

金抜き

特 記 仕 様 書

路 線 河 川 名：一級河川阿武隈川水系　古川、東根川、伝樋川、木幡川
工　　事　　名：古川水管橋（上流）ほか塗装修繕工事
工事施工箇所　：伊達市保原町大柳字前田～字向原地内ほか

１　本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和 7 年 10 月 1 日版）」に基づき実施しなければならない。

２　本工事の施工にあたり、該当する項目は、☑としている箇所である。

ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

・第４章　　情報共有システム・遠隔臨場
・~~第５章　　労働者確保に関する積算方法の試行工事~~
・第６章　　快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）
・第７章　　週休２日確保モデル工事等
・~~第８章　　建設キャリアアップシステム活用工事~~
・~~第９章　　ふくしまＭＥ資格取得者の現場活用~~
・第２３章　法定外の労災保険の付保
・第２４章　異常気象時における現場状況の報告
・第２５章　再生資源利用計画書
・第２６章　再生資源利用促進計画書
・第２９章　その他

３　第２章～第６章、第１５章～第２２章が適用される場合は、具体の内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。

※　福島県ホームページ＞組織でさがす＞技術管理課＞特記仕様書

４　本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

５　設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図　面　名	図面番号	葉数	備　考
古川水管橋（上流）　仮設計画図	1	1	
東根川水管橋（下流）　仮設計画図	2	1	
伝樋川水管橋　仮設計画図	3	1	
木幡川水管橋　仮設計画図	4	1	
計	全　4　葉		

6　以下（別紙）の図面は参考図とする。

図　面　名	図面番号	葉数	適　用
古川水管橋（上流）　　仮設計画図	1	1	
東根川水管橋（下流）　仮設計画図	2	1	
伝樋川水管橋　　仮設計画図	3	1	
木幡川水管橋　　仮設計画図	4	1	
計	全　4　葉		

7　本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8　設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9　設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）※」（福島県土木部）を活用すること。

※技術管理課ホームページ参照

福島地方水道用水供給企業団

☑１　下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

１）国有・民有保安林	□有　・　□無
２）鳥獣保護区域	□有　・　□無
３）国立・県立公園区域	□有　・　□無
４）鉄道近接区域	□有　・　□無
５）その他（河川区域）	☑有　・　□無

□２　施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第５章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

□３　福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係　　□有　・　□無

有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

□４　河道掘削に伴う工事測量

河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。

□第２章　フレックス工事

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。

□第３章　準備期間確保工事

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間（○○日間）内に着工日を任意に設定できる工事である。

第４章　情報共有システム、遠隔臨場

（本章はすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

~~本工事は、受発注者間で情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム運用の対象工事であり、システムを活用すること。~~

~~ただし、特段の理由等がある場合は、書面（紙）で活用できない理由を明記し、受発注者間の協議を行った上で活用の有無を決定する。~~

また、本工事は遠隔臨場の対象工事であり、遠隔臨場により効果が見込める場合は、積極的に実施すること。

~~**第５章　労働者確保に関する積算方法の試行工事**~~

~~**（本章はすべての工事に該当する）**~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~□１　労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：＿＿＿＿＿％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：＿＿＿＿＿％~~

~~□２　労働者確保及び労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保及び労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舎の維持・補修に要する費用）の割合：＿＿＿＿＿％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：＿＿＿＿＿％~~

第６章　快適トイレの設置

（本章は災害復旧工事を除くすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。

設置の可否については、現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。

第７章　週休２日確保モデル工事等

（本章はすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、「福島県土木部週休２日等工事試行要領」に定める工事のうち、☑としている箇所の対象工事である。

☑「週休２日確保モデル工事（発注者指定型）」

□「週休２日確保交替制工事（発注者指定型）」

□「完全週休２日モデル工事（発注者指定型）」

なお、本試行対象外工事であっても、受注者が週休２日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることが出来る。

~~第８章　建設キャリアアップシステム活用工事~~

~~**（本章はすべての工事に該当する）**~~

~~１　本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。~~

~~２　受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。~~

~~（**※なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照**）~~

~~第９章　ふくしまＭＥ（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用~~

~~**（本章はすべての工事に該当する）**~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

☑第１０章　総　　則

☑１　施工計画書

工程管理はバーチャートまたはネットワークにより行うものとする。
なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

□２　工事用地等の使用

□１）＿＿＿＿＿＿＿＿作業に係るヤードとして、別添「＿＿＿＿図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

□２）使用にあたっての条件、制限等

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□３　関連工事

１）工 事 名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
２）路河川名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿線・筋
３）施工箇所：＿＿＿＿市・郡＿＿＿＿町・村　大字＿＿＿＿字＿＿＿＿地内
４）注意・指示事項：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□４　支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　数量：＿＿＿＿＿＿
引渡時期：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
引渡場所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□５　工事現場発生品

１）工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
引渡時期：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
引渡場所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２）従来施設の撤去により発生した＿＿＿＿＿＿は、＿＿＿＿＿＿材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

□６　建設副産物処理

□１）下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

□２）下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設※
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	

※　積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

□３）金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

☑７　中間検査に関すること

１）以下の対象工事（工種）の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、①～④に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事（工種）	実施時期	備考（具体的な工種等）
①竣工検査時に確認困難な工事(工種)（足場、仮設を撤去すると現場に行けなくなる等。）	☑有 ・ □無	・対象工種が完成してから足場、仮設等を撤去するまでの間。	現場塗装工（上塗り完了後）
②不可視部の工事（工種)で２）に示すもの	□有 ・ □無	・不可視部の施工が完了、又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、配筋が完了、又は概ね完了した時。	２）に示す工事（工種）
③工期が１年以上となる工事。	□有 ・ □無	・協議による。	
④その他、発注者が必要とする工事(工種)	□有 ・ □無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	３）に示す工事（工種）

注１）監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。
また必要に応じ実施時期を修正すること。

２）②不可視部の工事（工種）とは次のものとする。

□杭基礎、□場所打杭、□深礎杭、□ケーソン基礎、□地盤改良
□捨石均し、□被覆・根固め均し、□井筒潜函基礎、□山腹基礎床掘
□上層路盤（1,000m2 以上の工事）
□現場打ちのボックスカルバート、擁壁（鉄筋 Co）
□橋台・橋脚、□現場制作ＰＣ橋、□床版
□水門・樋門

□ブロック製作、ケーソン製作
□覆工 Co の前段工事
□その他【　　】

３）④その他、発注者が必要とする工種（工事）とは次のものとする。
□桁の仮組立
□水門扉、□可動堰、□スノーシェッド、□ポンプ施設、□除塵機、□桟橋
□堰堤（Co、盛土）
□堰（工場制作）、ラバーダム
□地盤変動等の影響が予想される掘削
□仮橋、路面覆工(一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの)
□仮堤防（本堤防と同等の機能を求める仮堤防）
□その他【　　】

☑８　監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備　考
素地調整完了後	塗装工	完了時	
塗膜厚	塗装工	塗装完了時（各層）	

□９　施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

□１）出来形管理

工　種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所

□２）品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

□３）写真管理

工　種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

□ 10　コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「１セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢 28 日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘　　要

□ 11　用地取得及び支障物件

□１）工事区域内の用地確保（□　済　・□　一部未了　）

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】　　年　　月（□上旬　□中旬　□下旬）

□２）工事支障物件：　□有　・　□無

【支障物件移転予定時期】　　年　　月（□上旬　□中旬　□下旬）

☑ 12　工事の履行報告（工程会議）

工事着工後、履行状況については、毎月ごとに監督員に提出すること。
なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。
また、協議様式は、監督員の指示によること。

☑ 13　工事現場管理

交通誘導員は足場材組立・解体における片側交互通行規制にのべ３８人 を配置計画とした。なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☑ 14　作業工程

１）現場作業は、日中作業とし、時間帯は８時～17 時までとする。

２）作業工程における注意事項：

３）現道の使用規制について

現道は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿により本工事を施工するものとする。

４）工事を施工しない日　　□　有　・　□　無　　年　　月　　日

工事を施工しない時間帯　□　有　・　□　無　　：　～　：

「工事を施工しない時間帯」は、

□　工期全体　　□　上記「工事を施工しない日」　　□ ＿＿＿＿＿＿ に適用する。

☑ 15　仮設

☑１）指定仮設の有無　　□　有　・　☑　無

□２）指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考

□３）下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。
仮設物名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　数量等：＿＿＿＿＿＿＿＿
存置期間：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□４）吊足場の設置は非出水期である 11 月～３月とし、河川管理者から河川一時占用許可受理後から仮設工の施工が可能となる。

□５）水管部に仮設する吊足場および作業員等の総重量は、下記重量を超えないこと。ただし、構造計算等により安全が確保される場合を除く。
*設計条件の雪荷重を上記重量としているため、降雪時は除雪を行うこと。

□６）吊足場計画に当たっては、吊足場下端が非出水期の河川高水位より上部となるように計画すること。

□ 16　工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計上費目	実施する項目数	実施する内容（率計上分）
現場環境改善（仮設備関係）	（　）	① 用水・電力等の供給設備 ② 緑化・花壇 ③ ライトアップ施設 ④ 見学路及び椅子の設置 ⑤ 昇降設備の充実 ⑥ 環境負荷の低減
現場環境改善（営繕関係）	（　）	① 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ② 労働者宿舎の快適化 ③ デザインボックス(交通誘導警備員待機室) ④ 現場休憩所の快適化 ⑤ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善（安全関係）	（　）	① 工事標識・照明等安全施設のｲﾒｰｼﾞｱｯﾌﾟ（電光式標識等） ② 盗難防止対策(警報器等) ③ 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	（　）	① 完成予想図 ② 工法説明図 ③ 工事工程表 ④ デザイン工事看板(各工事ＰＲ看板含む) ⑤ 見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑥ 見学所(ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ)の設置及び管理運営 ⑦ パンフレット・工法説明ビデオ ⑧ 地域対策費（地域行事等の経費を含む） ⑨ 社会貢献

☑ 17　工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を各水管橋につき１基設置すること。

□ 18　六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

本工事は、「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、

試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（六価クロム溶出試験対象工種及び検体数）

工　　種	工　　法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

（タンクリーチング試験対象工種及び検体数）

工　　種	工　　法	検体数	備　　考
		検体	
		検体	
		検体	

□第１１章　材　　料

□１　設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□１）一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

□２）再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考

※ 再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離４０㎞の範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□２　下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験(　　)
				確認資料・見本 ・試験(　　)
				確認資料・見本 ・試験(　　)

※ 備考欄で種別を選択する。（試験のカッコ書きは試験方法を記入する）

□３　下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資　材　名	規　　格	調達地域等

□第１２章　一 般 施 工

□１　建設発生土の処理

□１）他工事への流用：　□　有　・　□　無

工事名：＿＿＿＿＿＿＿＿　路河川名：＿＿＿＿＿＿＿＿

施工場所：＿＿＿＿市・郡＿＿＿＿町・村　大字＿＿＿＿字＿＿＿＿地内

運搬距離　＿＿＿＿km

□２）搬出先

受入場所：＿＿＿＿市・郡＿＿＿＿町・村　大字＿＿＿＿字＿＿＿＿地内

運搬距離　＿＿＿＿km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法（開発許可）、森林法（林地開発）、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法（改正宅地造成等規制法）などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

□２　他工事からの流用土

□１）他工事からの流用：　□　有　・　□　無

① 工事名：＿＿＿＿＿＿＿＿　路河川名：＿＿＿＿＿＿＿＿

② 指定・施工場所：＿＿＿＿市・郡＿＿＿＿町・村　大字＿＿＿＿字＿＿＿＿地内

③ 運搬の有無：　□　有　・　□　無　（＿＿＿＿ｋｍ）

④ 品　　質：＿＿＿＿＿＿＿＿

品質の確認試験（＿＿＿＿＿＿）については、＿＿＿＿＿＿で実施する。

☑３　購入土等

☑１）購入土等の有無：　☑　有　・　□　無

☑２）購入土等の種類：☑購入土　・　□岩ズリ　・　□その他（　　）

☑３）購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。

□４）購入土等が１工事あたり１，０００m3以上の場合は、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□４　建設汚泥（泥土）の処理

□１）汚泥（泥土）は、＿＿＿＿＿＿による改良を行い、＿＿＿として再利用する。

□２）改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における＿＿＿＿＿＿＿＿とする。

□３）改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。

□４）改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

□５　レディーミクストコンクリートの養生

□１）レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	□　普通ポルトランドセメント	
	□　混合セメントＢ種	□高炉セメントＢ種 1) □フライアッシュセメントＢ種 □シリカセメントＢ種
	□　早強ポルトランドセメント	
気象条件	□　暑中コンクリート(日平均気温が２５℃を超える場合)	
	□　寒中コンクリート(日平均気温が４℃以下になる場合)	
	構造物の露出状態	□連続して、あるいはしばしば水で飽和される部分 2) □普通の露出状態

1)　「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html

2)　水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

☑６　塗装工

☑１）塗装回数は下塗４回、中塗１回、上塗１回とする。

☑２）塗料の種類は下記のとおりとする。

種別及び箇所	細　　別	塗料の種類	目標塗膜厚(μm)
現場塗装 N-4 系	下塗り １～４層	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 JIS K5551 C 種	２４０μm [各層６０]

（WSP:009-2010）	中塗り１層	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 JIS　K5659	３０μｍ
	上塗り１層	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 JIS　K5659　１級	２５μｍ

☑３）素地調整（ケレン）は３種ケレンＣとする。

☑４）詳細の色彩等については監督員と協議のこと。

なお、中塗り塗装色は 45-70P 淡、上塗り塗装色は 45-70P とする。

□７ 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物施工

□１）受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」により施工する。

□２）受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたり、設計図書等に「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」及び「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を採用していない場合は、採用についての協議を行うことが出来る。

□第１３章　その他施工

□１　工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難い場合は監督員と協議のこと。

工　種	指　定　工　法	備考

□２　建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□３　重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工　　種	機　　種	規　　格

□４　ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用　**※ 車道および側帯の舗装新設、改築お**

よび大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 （単位１日につき台）	交通量塑性変形輪数 （単位１ﾐﾘﾒｰﾄﾙにつき回）	該当欄
第１種、第２種 第３種第１級及び第２級 第４種第１級	3,000 以上	3,000	
	3,000 未満	1,500	
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

□５　植栽工　※ 植栽に係る直接工事費が５０万円以上となる工事の場合に記載

本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。

また，工事完成届提出時までに，植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

□6　鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

□第１４章　ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第１編第１章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針の レ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

□１　工事を行う基本方針（指針Ｐ１３）

基本方針１　すべての人が　快適　に利用できる施設

□① 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
□② 右利き、左利きに対応した施設
□③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
□④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
□⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
□⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
□⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
□⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設

□⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
□⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
□⑪ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
□⑫ プライバシーに配慮された施設
□⑬ 天候や季節に左右されない施設
□⑭ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針２　すべての人が　簡単　に利用できる施設
□① 使い方を直感的に理解できる施設
□② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
□③ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針３　すべての人が　安全　に利用できる施設
□① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
□② 危険や間違えやすい状況が発生しない施設
□③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
□④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
□⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
□⑥ 危険な部分が防護されている施設
□⑦ 四季を通じて安全な施設
□⑧ 災害時や不測の事態が生じても、安全に避難できる施設

基本方針４　さりげなく　美しい　施設
□① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
□② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
□③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
□④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針５　どのような状況にも　柔軟　に対応できる施設
□① できる限り同じ手段で利用できる施設
□② 利用者に応じた使い方が選べる施設
□③ 利用者のペースに合わせることができる施設
□④ 情報がその重要さに応じて提供される施設
□⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

□２　特に重点をおいて工事する項目・箇所

□第１５章　記録保存の資料作成

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

□１　本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
・道路構造物の記録保存資料

□２　本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
・道路舗装構成等の記録保存資料

□ 第１６章　１日未満で完了する作業の積算

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、施工実施にあたり、作業量が１日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「１日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

□第１７章　施工箇所が点在する工事の積算

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。
対象地区：○○工区（施工箇所○○、○○）、△△工区（施工箇所○○）、
□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）
（なお、積算上の親工区は、△△工区（施工箇所○○）とする。）

□第１８章　落橋防止装置の溶接施工等について

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□第１９章　ＩＣＴ活用工事

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

１　本工事の発注方式は（　□受注者希望型　・　□発注者指定型　）である。

□２　ＩＣＴ活用工事（土工）

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（土工）」の対象工事である。

□３　ＩＣＴ活用工事（舗装工）

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（舗装工）」の対象工事である。

□４　ＩＣＴ活用工事（浚渫工（港湾））

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（浚渫工（港湾））実施要領」に基づき、

起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（浚渫工（港湾））」の対象工事である。

□第２０章　舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

□第２１章　「総合評価方式（標準型・簡易型）における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

□第２２章　熱中症対策に関する現場管理費補正試行工事

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、「熱中症対策に関する現場管理費補正試行要領」の対象工事である。

第２３章　法定外の労災保険の付保

（本章はすべての工事に該当する）

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等）を提出しなければならない。

第２４章　異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

１　異常気象時等の対象

（１）大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

（２）震度５弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度５弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度４の場合も対象とする。

２　パトロール等の実施及び報告の内容について

① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。

② 休工中であれば、必要に応じ２名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。

③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。

④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、２次災害防止に努める。

⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。

⑥ 地震及び津波が発生した後に，作業を再開する前には，建設物，仮設物，資機材，

建設機械，電気設備及び地盤，斜面状況等を十分点検する。

⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、ＦＡＸ又はメールする。

３　報告期限について

（１）大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後１時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

（２）震度５弱以上の地震時

地震発生後１時間以内。

（被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない）

（別紙様式）

○○○建設事務所　○○○部　○○課 ○○○ 行（FAX:024-○○○-○○○○）

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

異常気象時等現場点検結果報告書（例）

工事名	工第○○－４１３００－○○○○号　○○○○○○○○工事		
場　　所	市　　地内		
請負者	○○○○○㈱		
現場代理人	○○○○		
点検日時 （24時間表示）	開　始	令和○○年○○月○○日○○時○○分	
	終　了	令和○○年○○月○○日○○時○○分	

点検項目	異常の有無
○現場内の状況	
・法面の崩壊	無し
・法面の亀裂	有り（延長00m、法長00m）
・法面からの湧水	無し
・路面の陥没	無し
・仮設の設置状況	無し
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し
・河川、水路の水位の上昇状況	無し
・土石流の発生	無し
・地すべりの発生	無し
○現場周辺の状況	
・法面の状況	無し
・路面の状況	無し
・流末排水の状況	無し
・雨量計の読み取り	000 ㎜
・土石流危険渓流の状況	無し
・砂防指定地の状況	無し
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し
・地すべり危険区域の状況	無し
・その他異常の有無	無し

処置内容
・Ｎｏ．０～ Ｎｏ．１０左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。

第２５章　再生資源利用計画書

（本章はすべての工事に該当する）

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第２６章　再生資源利用促進計画書

（本章はすべての工事に該当する）

１　受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

２　受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料（確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照）として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

３　受注者は、建設発生土の搬出先に受領書（※技術管理課ホームページ参照）の交付を求め、その写しを５年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第 9 条の規定によるものとする。（※試行要領は技術管理課ホームページ参照）

４　受注者は、土壌汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果（確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照）を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

□第２７章　三者協議

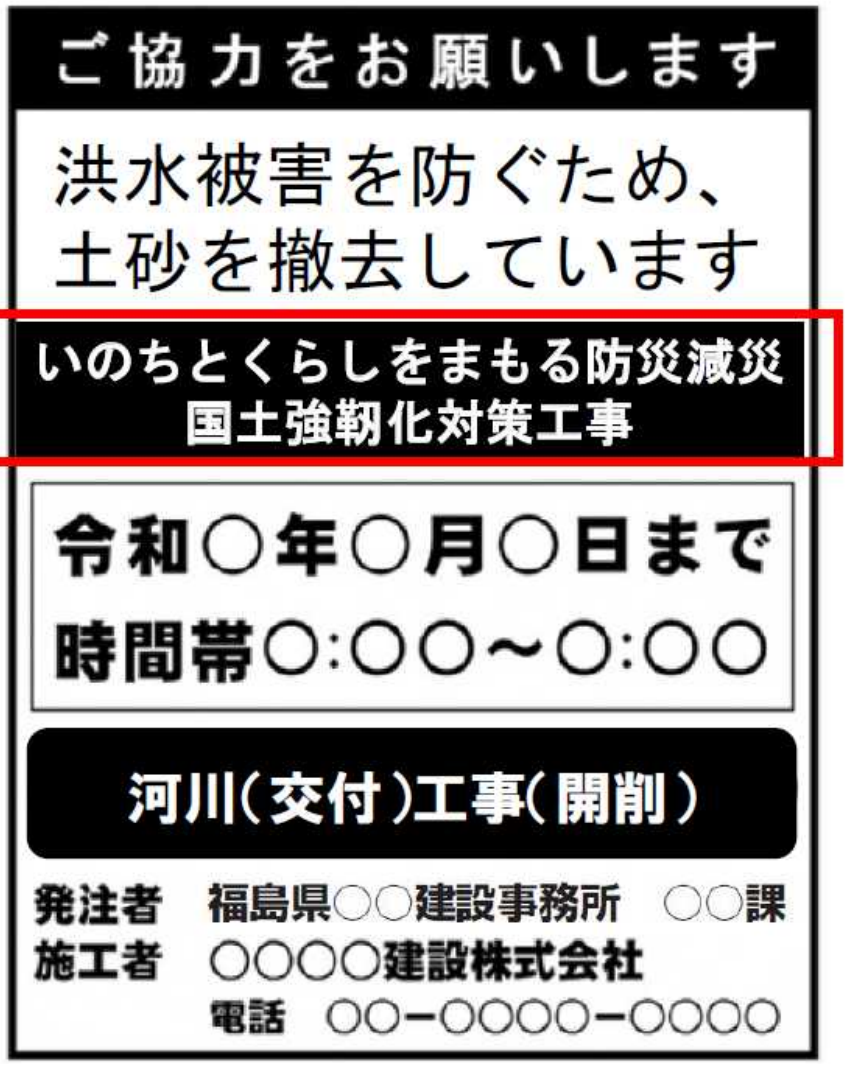
本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。

□第２８章　国土強靭化事業の取組に関する広報

本工事は国土強靭化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靭化対策工事」の記載を行うこと。

記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。

工事名標示板のイメージ（例）



※主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

☑第２９章　そ　の　他

① 受注者は、現地確認を行い　実作業に則した足場計画図及び構造計算書を作成し、発注者へ提出すること。発注者にてその資料を添付し、一時河川占用許可申請書を河川管理者へ提出する。一時河川占用許可書受理後、仮設工が着手可能となる。

② 交通規制を実施し、作業を行う際は道路使用許可書の写しを提出すること。

③ 塗装工の際、水洗いによる汚水、ケレンくずは河川へ流出しないように回収し、処分すること。

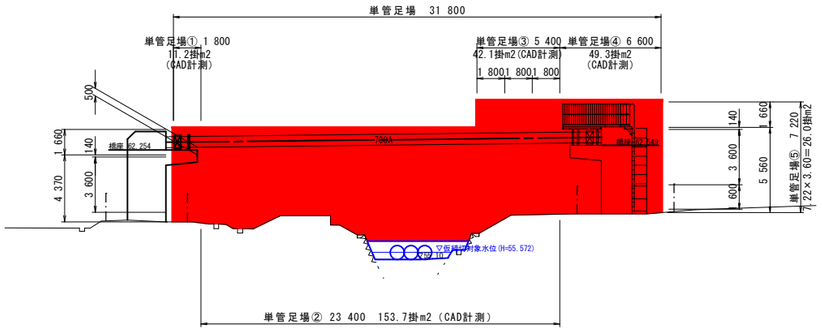
④ 現場の作業範囲は明確に区切り、第三者へ十分な注意を促すこと。

⑤ 河川管理上必要な点検、通行の支障とならないこと。

⑥ 本水管橋を含む企業団施設に異常が確認された際は、速やかに監督員へ報告し指示を受けること。

古川水管橋（上流）仮設計画図（参考図）

側　面　図　S=1:200（A1）S=1:400（A3）



数　量　計　算

単管足場　　A = ①11.2×2 ＋ ②153.7 ＋ ③42.1 ＋ ④49.3×2 ＋ ⑤25.8 ＝ 342.6 掛m2

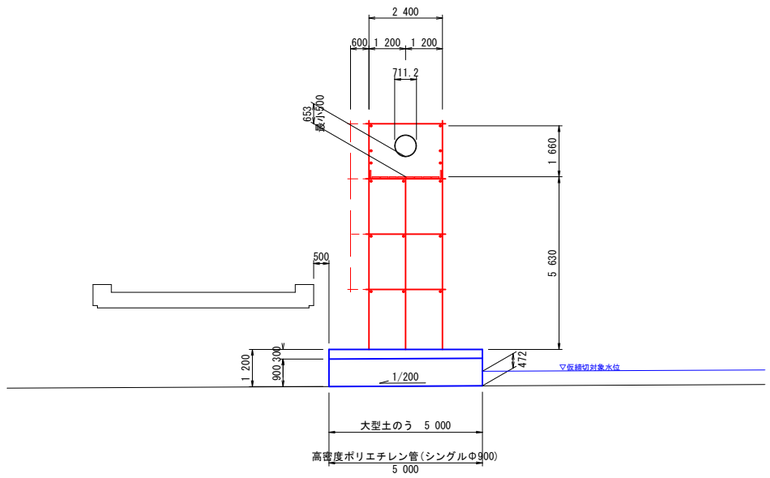
シート防護　　A = {①0.77×1.80＋(0.77×2＋1.80)×1.73}×2 ＋ {②1.73×2＋2.33)×23.40 ＋ (③0.60＋1.10)×5.40
－0.60×1.80 ＋ {④0.77×4.75＋(0.77＋0.60)×(0.97＋0.31)}×2 ＋ ⑤0.80×0.31 ＋ ⑤3.54×0.53
＋ {③5.40×2＋1.10)×1.73 ＋ {④,⑤4.75＋0.97＋0.31＋0.53)×2＋3.54＋0.77}×1.73
＝ 221.602 ≒ 221.6 m2

暗渠排水管　　L = 5.0 × 3 ＝ 15.0 m
(高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 φ900)

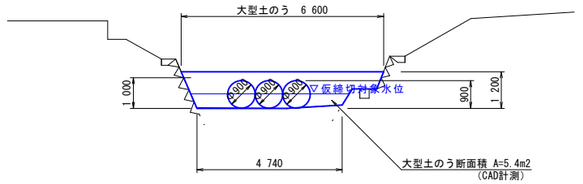
大型土のう　　N = (5.4m2 × 5.00) ÷ 1.00m3/袋 ＝ 27.0 袋

フェンスのみ撤去再設置　　L = 4.0＋5.0＋6.0 ＝ 15.0 m
(H=1 800)

Ａ－Ａ’断面図　S=1:100（A1）S=1:200（A3）

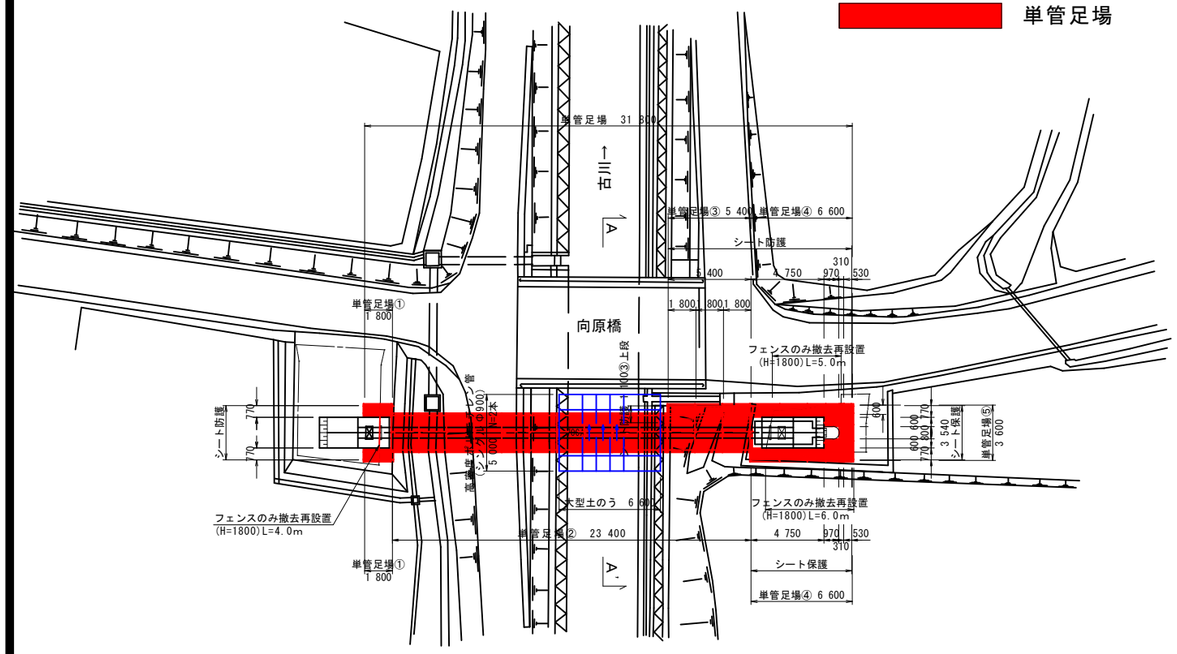


仮締切正面図　S=1:100（A1）S=1:200（A3）

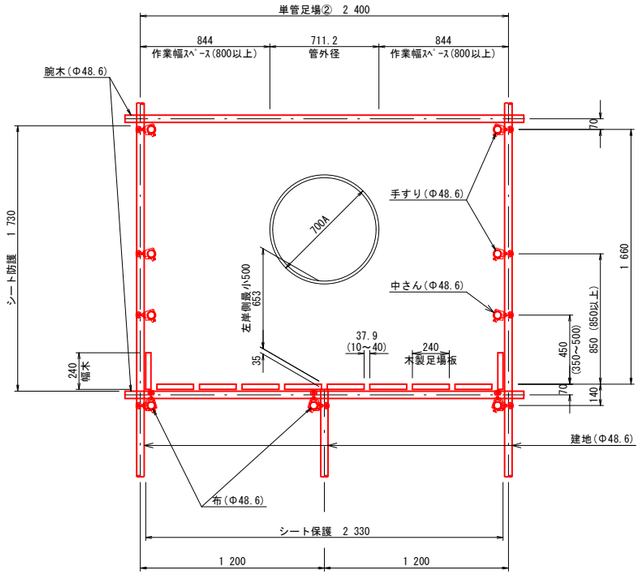


平　面　図　S=1:200（A1）S=1:400（A3）

単管足場



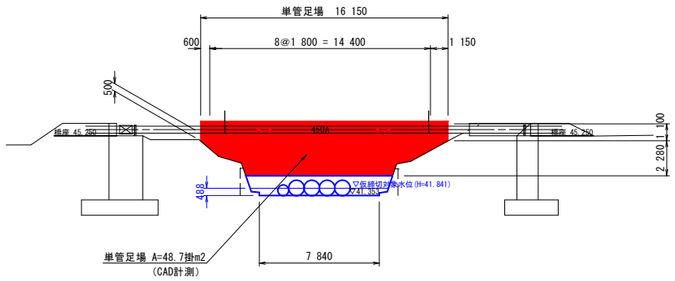
詳細断面図　S=1:20（A1）S=1:40（A3）



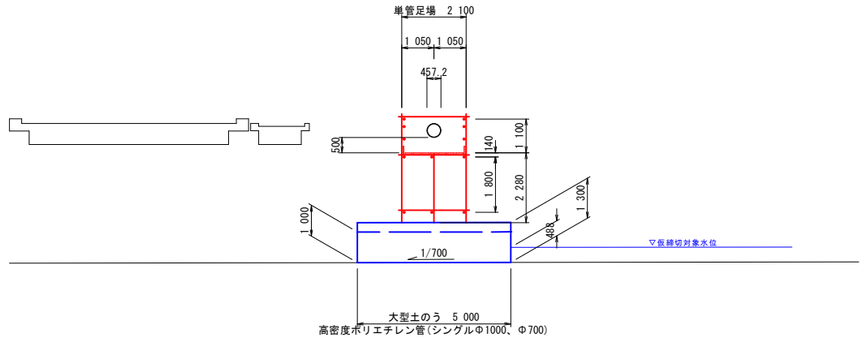
令和８年度			
工事名	古川水管橋（上流）ほか塗装修繕工事		
図 名	古川水管橋（上流） 仮設計画図		
施工箇所	左岸　伊達市保原町大柳字前田地内 右岸　伊達市保原町大柳字向原地内		
縮尺	図　示	図面番号	1/4
作成年月日	令和８年９月		
福島地方水道用水供給企業団			

東根川水管橋(下流)仮設計画図 （参考図）

側　面　図　S=1:200 (A1) S=1:400 (A3)



Ａ－Ａ’断面図　S=1:100 (A1) S=1:200 (A3)



数　量　計　算

単管足場　　A = 48.7 掛m2

シート防護　　A = (1.17×2 ＋ 2.03) × 16.15 ＝ 70.576 ≒ 70.6 m2

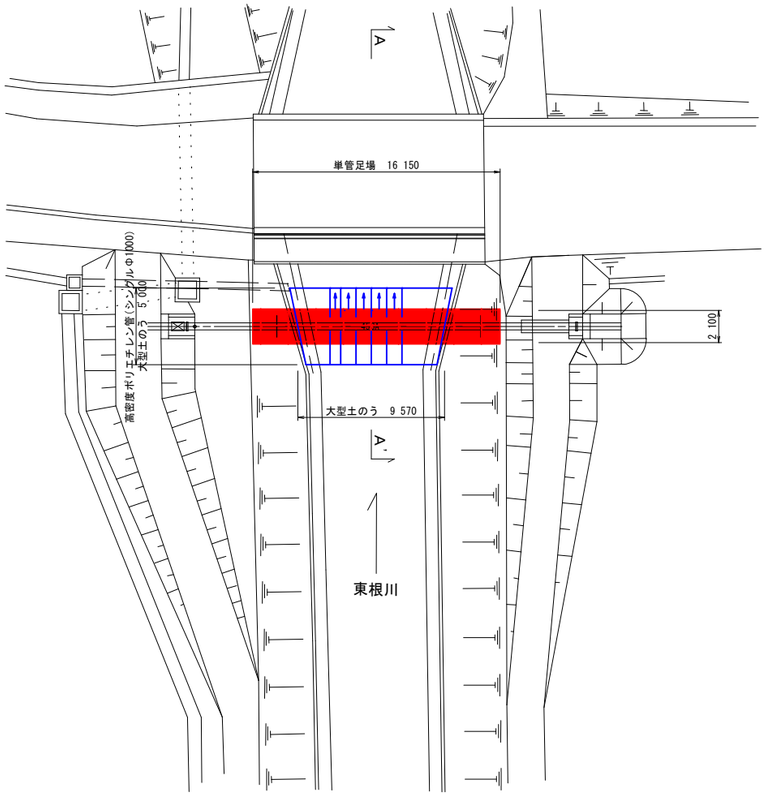
暗渠排水管　　L = 5.00 × 4 ＝ 20.0 m
(高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 φ1000)

暗渠排水管　　L = 5.0 m
(高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 φ700)

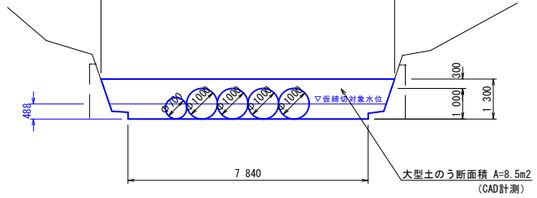
大型土のう　　N = (8.5m2 × 5.00) ÷ 1.00m3/袋 ＝ 42.5 袋

単管足場

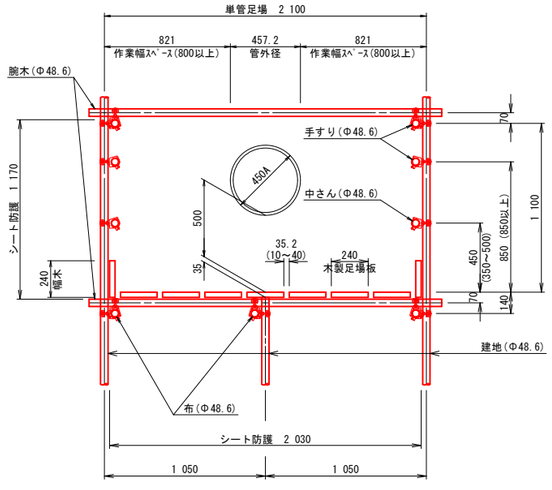
平　面　図　S=1:200 (A1) S=1:400 (A3)



仮締切断面図　S=1:100 (A1) S=1:200 (A3)



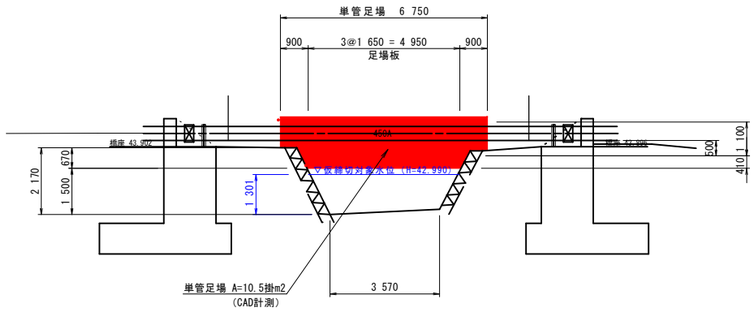
詳細断面図　S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)



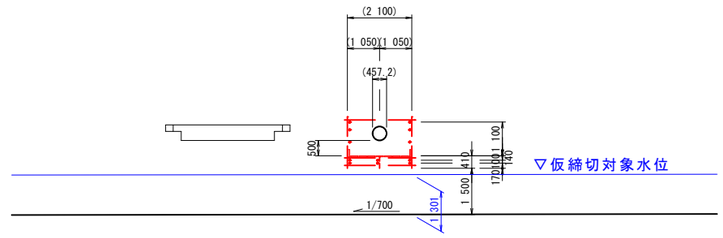
令和８年度			
工事名	古川水管橋（上流）ほか塗装修繕工事		
図　名	東根川水管橋（下流）　仮設計画図		
施工箇所	左岸　伊達市保原町字北河原地内 右岸　伊達市保原町大立目字東川原地内		
縮尺	図　示	図面番号	2/4
作成年月日	令和８年９月		
福島地方水道用水供給企業団			

伝樋川水管橋仮設計画図（参考図）

側 面 図　S=1:100 (A1) S=1:200 (A3)



Ａ－Ａ’断面図　S=1:100 (A1) S=1:200 (A3)

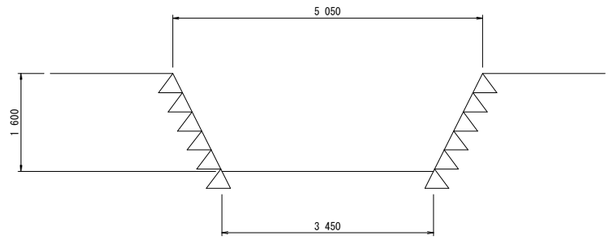


数 量 計 算

単管足場　　A = 10.5 掛m2

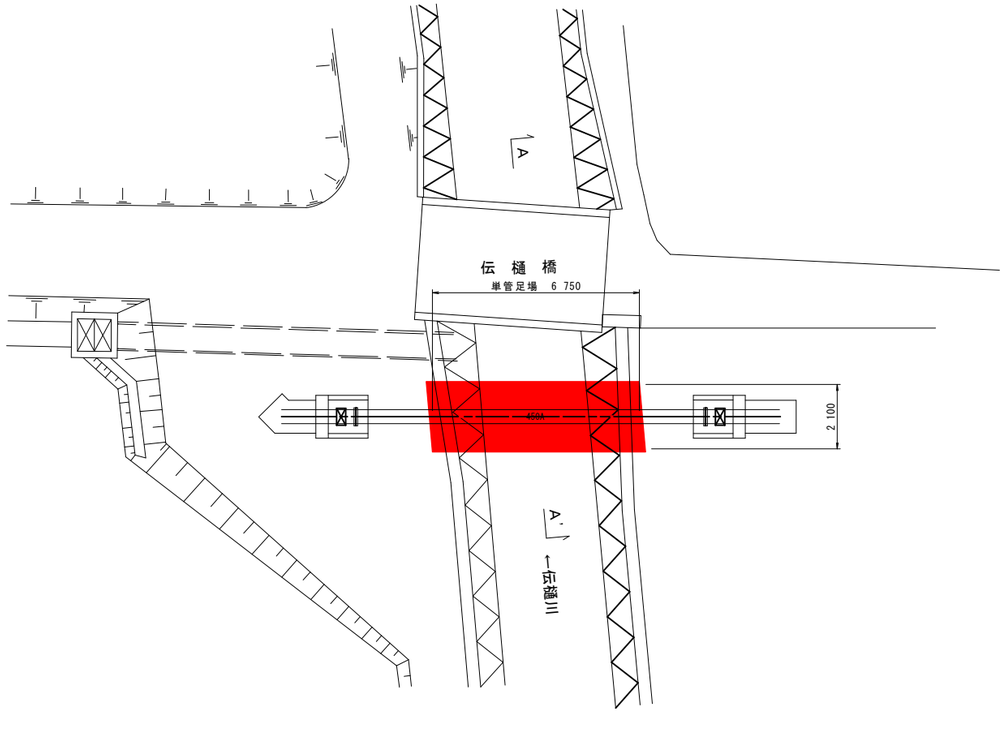
シート防護　　A = (1.17×2 ＋ 2.03) × 6.75 ＝ 29.498 ≒ 29.5 m2

河川断面図　S=1:50 (A1) S=1:100 (A3)

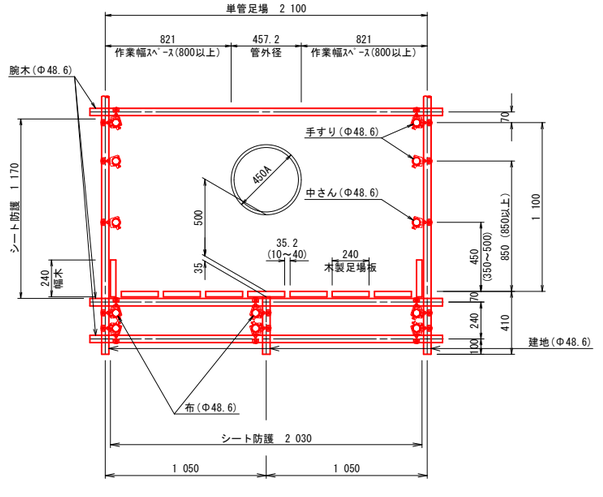


単管足場

平 面 図　S=1:100 (A1) S=1:200 (A3)



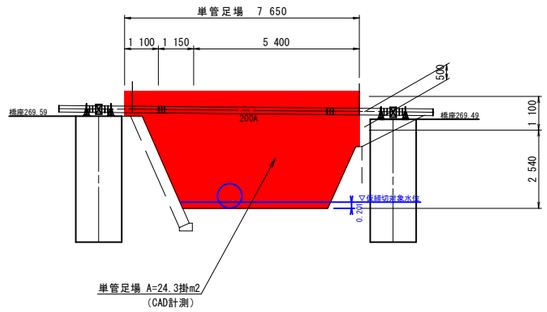
詳細断面図　S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)



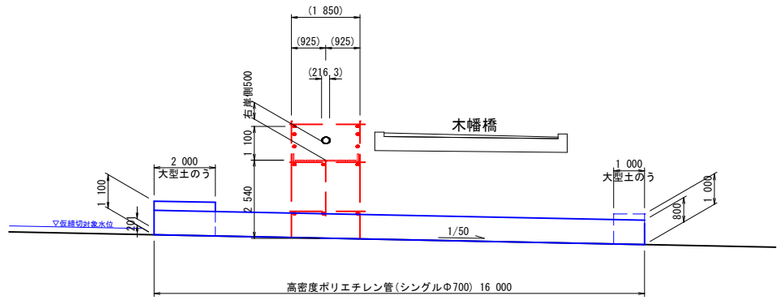
令和８年度			
工事名	古川水管橋（上流）ほか塗装修繕工事		
図 名	伝樋川水管橋 仮設計画図		
施工箇所	左岸　伊達市梁川町新田字大正寺地内 右岸　伊達市梁川町新田字大正寺地内		
縮尺	図　示	図面番号	3/4
作成年月日	令和８年９月		
福島地方水道用水供給企業団			

木幡川水管橋仮設計画図（参考図）

足場縦断面図　S=1:100（A1）S=1:200（A3）

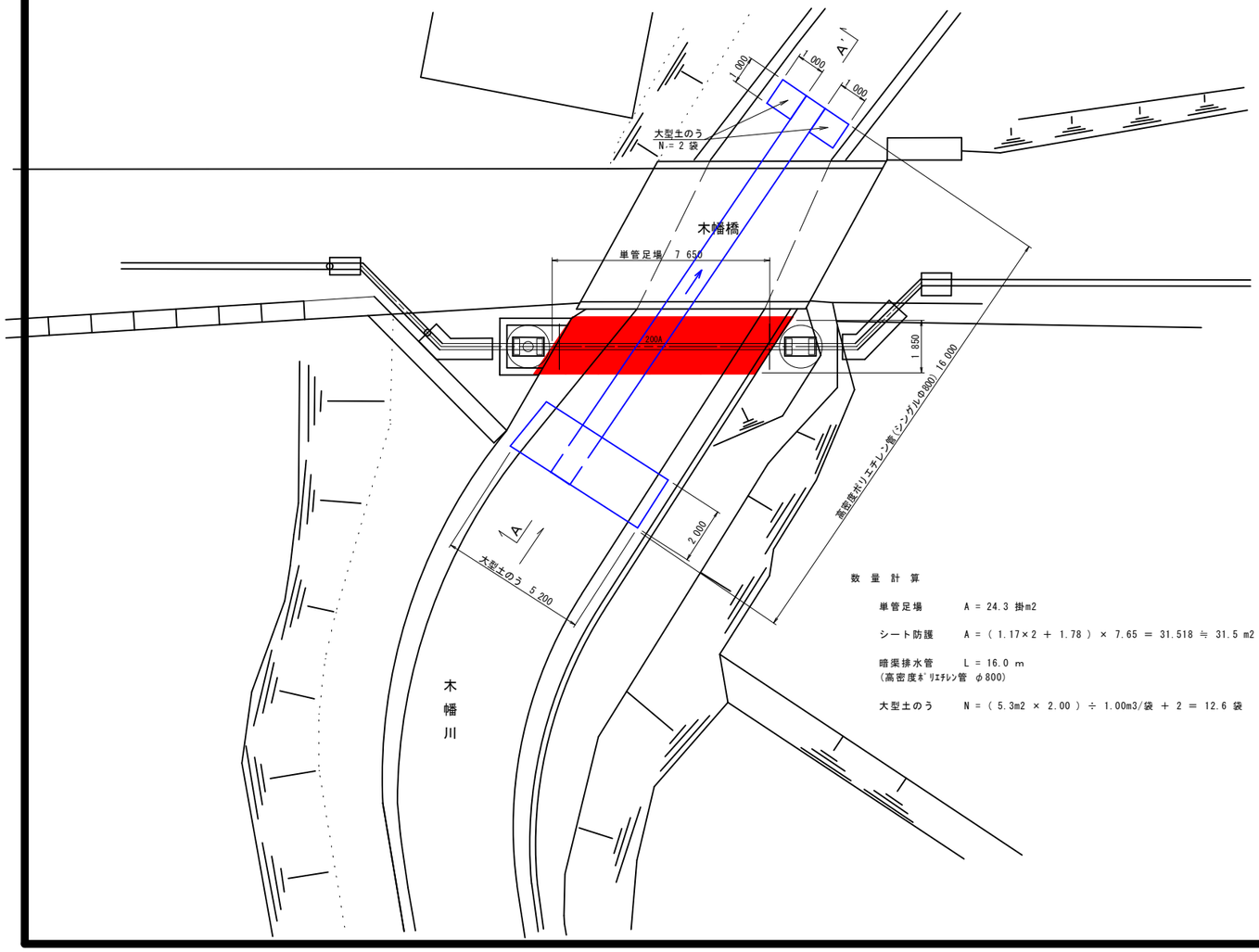


Ａ－Ａ’断面図　S=1:100（A1）S=1:200（A3）



平　面　図　S=1:100（A1）S=1:200（A3）

単管足場



数　量　計　算

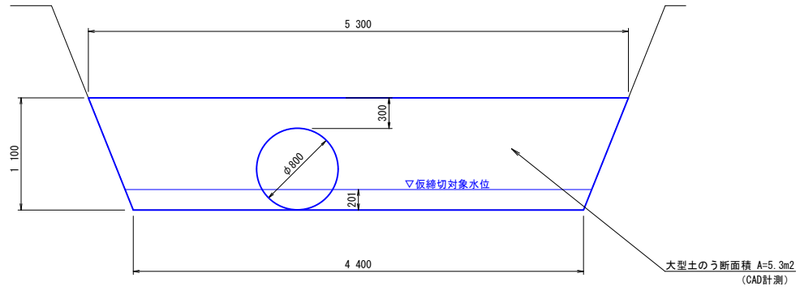
単管足場　　A = 24.3 掛m2

シート防護　　A =（ 1.17×2 ＋ 1.78 ）× 7.65 ＝ 31.518 ≒ 31.5 m2

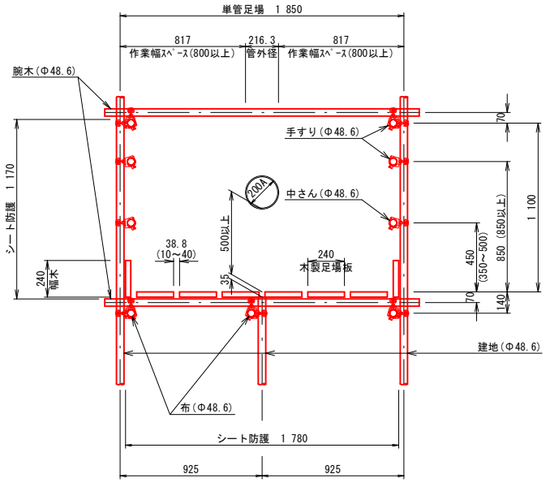
暗渠排水管　　L = 16.0 m
（高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 φ800）

大型土のう　　N =（ 5.3m2 × 2.00 ）÷ 1.00m3/袋 ＋ 2 ＝ 12.6 袋

仮締切正面図　S=1:30（A1）S=1:60（A3）



詳細断面図　S=1:20（A1）S=1:40（A3）



令和８年度			
工事名	古川水管橋（上流）ほか塗装修繕工事		
図 名	木幡川水管橋　仮設計画図		
施工箇所	左岸　二本松市木幡字松木下地内 右岸　二本松市木幡字松木下地内		
縮尺	図　示	図面番号	4/4
作成年月日	令和８年９月		
福島地方水道用水供給企業団			

数 量 計 算 書

名　　称	規 格 ・ 寸 法	数 量 算 式	単位	数　量	設計数量
4橋合算					
塗装面積		別紙計算書より			
古川水管橋(上流)	φ700mm	66.10			
東根川水管橋(下流)	φ450mm	40.80			
伝樋川水管橋	φ450mm	31.62			
木幡川水管橋	φ200mm	12.43			
		計　150.95　㎡	㎡	150.95	150.9
塗装工					
水洗い・清掃		塗装面積より	㎡	150.95	150.9
素地調整工	3種ケレンC	塗装面積より	㎡	150.95	150.9
下塗り	エポキシ 4回塗り	塗装面積より	㎡	150.95	150.9
中塗り	ふっ素　1回塗り	塗装面積より	㎡	150.95	150.9
上塗り	ふっ素　1回塗り	塗装面積より	㎡	150.95	150.9
溶接修繕工					
溶接工	古川水管橋(上流)	3.00	m	3.00	3.0
仮設工		別紙計算書より			
単管足場工	古川水管橋(上流)	342.60			
	東根川水管橋(下流)	48.70			
	伝樋川水管橋	10.50			
	木幡川水管橋	24.30			
		計　426.10 掛㎡	掛㎡	426.10	426.1
		別紙計算書より			
シート張防護工	古川水管橋(上流)	221.60			
	東根川水管橋(下流)	70.60			
	伝樋川水管橋	29.50			
	木幡川水管橋	31.50			
		計　353.20　㎡	㎡	353.20	353.2

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

仮水路工					
仮排水管	高密度ポリエチレン管 φ700～1000無孔管 据付				
	古川水管橋(上流)	15.00			
	東根川水管橋(下流)	25.00			
	木幡川水管橋	16.00			
		計 56.00 m	m	56.00	56.0
仮排水管	高密度ポリエチレン管 Φ700～1000無孔管 撤去				
	古川水管橋(上流)	15.00			
	東根川水管橋(下流)	25.00			
	木幡川水管橋	16.00			
		計 56.00 m	m	56.00	56.0
土のう	大型土のう製作・据付				
	古川水管橋(上流)	27.00			
	東根川水管橋(下流)	42.50			
	木幡川水管橋	12.60			
		計 82.10 袋	袋	82.10	82.1
土のう	大型土のう据付・撤去				
	古川水管橋(上流)	27.00			
	東根川水管橋(下流)	42.50			
	木幡川水管橋	12.60			
		計 82.10 袋	袋	82.10	82.1
土砂等運搬	残土処理				
	古川水管橋(上流)	27.00			
	東根川水管橋(下流)	42.50			
	木幡川水管橋	12.60			
		計 82.10 ㎥	㎥	82.10	82.1

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

整地					
	古川水管橋(上流)	27.00			
	東根川水管橋(下流)	42.50			
	木幡川水管橋	12.60			
		計 82.10 ㎥	㎥	82.10	82.1
産業廃棄物処理工					
産業廃棄物運搬 (廃プラスチック類)					
現場発生品運搬	現場発生品及び支給品積込･荷卸し				
	古川水管橋(上流)	0.10			
	東根川水管橋(下流)	0.10			
	木幡川水管橋	0.10			
		計 0.30 t	t	0.30	0.3
現場発生品運搬	現場発生品及び支給品運搬				
	古川水管橋(上流)	0.10			
	東根川水管橋(下流)	0.10			
	木幡川水管橋	0.10			
		計 0.30 t	t	0.30	0.3
産業廃棄物処分 (廃プラスチック類)					
	古川水管橋(上流)	0.20			
	東根川水管橋(下流)	0.30			
	木幡川水管橋	0.10			
		計 0.60 ㎥	㎥	0.60	0.60
防護施設工					
立入防止柵	古川水管橋(上流)	15.00			
		計 15.00 m	m	15.00	15.00

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

作業ヤード整備工					
敷鉄板					
設置					
	東根川水管橋(下流)	46.50			
		計 46.50 ㎡	㎡	46.50	46.50
撤去					
	東根川水管橋(下流)	46.50			
		計 46.50 ㎡	㎡	46.50	46.50
賃料					
	東根川水管橋(下流)	22×1524×3048(802㎏/枚)10枚 共用20日	枚・日	200.0	200.0
安全管理工					
交通誘導員	交通誘導員B				
	古川水管橋(上流)	18.0			
	東根川水管橋(下流)	12.0			
	伝樋川水管橋	4.0			
	木幡川水管橋	4.0			
		計 38.0 人	人	38.00	38.00
運搬費					
仮設材運搬					
8t 片道2.2㎞	東根川水管橋(下流)		式	1.00	1.00
仮設材	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)				
積込み	東根川水管橋(下流)	8.0			
		計 8.0 t	t	8.00	8.00
取卸し	東根川水管橋(下流)	8.0			
		計 8.0 t	t	8.00	8.00

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

安全費					
工事名標示板					
	古川水管橋(上流)	1.0			
	東根川水管橋(下流)	1.0			
	伝樋川水管橋	1.0			
	木幡川水管橋	1.0			
		計 4.0 基	基	4.0	4.0

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

名　　称	規格・寸法	数 量 算 式					単位	数　量	設計数量
古川水管橋（上流）	φ700mm								
水管橋延長		L= 28.4				=	m	28.40	
塗装面積		設計当初資料より							
		計 66.10 ㎡				=	㎡	66.10	66.1
塗装工									
水洗い・清掃		塗装面積より				=	㎡	66.10	66.1
素地調整工	3種ケレンC	塗装面積より				=	㎡	66.10	66.1
下塗り	エポキシ 4回塗り	塗装面積より				=	㎡	66.10	66.1
中塗り	ふっ素 1回塗り	塗装面積より				=	㎡	66.10	66.1
上塗り	ふっ素 1回塗り	塗装面積より				=	㎡	66.10	66.1
溶接修繕工									
溶接工						=	m	3.00	3.0
仮設工		※別紙図面より							
単管足場工		計 342.60 ㎡				=	掛㎡	342.60	342.6
		※別紙図面より							
シート張防護工		計 221.6 ㎡				=	㎡	221.60	221.6
仮水路工		ポリエチレン管延長(m)		本数					
仮排水管	高密度ポリエチレン管 φ900無孔管 据付	5.0	×	3.0		=	m	15.0	15.0
		ポリエチレン管延長(m)		本数					
仮排水管	高密度ポリエチレン管 φ900無孔管 撤去	5.0	×	3.0		=	m	15.0	15.0
		図面上計算(㎡)		奥行(m)	袋換算(㎥/袋)				
土のう	大型土のう 製作・設置	(5.4	×	5.0	)÷ 1.0	=	袋	27.0	27.0
		図面上計算(㎡)		奥行(m)	袋換算(㎥/袋)				
土のう	大型土のう 据付・撤去	(5.4	×	5.0	)÷ 1.0	=	袋	27.0	27.0
				㎥換算(袋/㎥)					
土砂等運搬		27.0	×	1.0		=	㎥	27.0	27.0

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

			㎥換算(袋/㎥)				
整地		27.0	× 1.0	=	㎥	27.0	27.0
産業廃棄物運搬 (廃プラスチック類)			フレコン1袋当たり の重量(t/袋)				※小数点第一位 に繰り上げ
現場発生品運搬	支給品積 込･荷下ろし	27.0	× 0.0027	=	t	0.073	0.1
			運搬距離25.9㎞				
			フレコン1袋当たり の重量(t/袋)				※小数点第一位 に繰り上げ
現場発生品運搬	品･支給品 運搬	27.0	× 0.0027	=	t	0.073	0.1
			運搬料(t) 廃プラスチック類 比重(t/㎥)				
産業廃棄物処分 (廃プラスチック類)	処分量 (中間処理)	0.073	÷ 0.35	=	㎥	0.21	0.2
防護施設工							
立入防止柵	フェンス 撤去再設	15.0		=	m	15.0	15.0
安全管理工							
交通誘導員	交通誘導員B	足場搬入搬出1･資材搬入1	足場設置1･撤去1				
		(9.0	+ 9.0)	=	人	18.0	18.0
安全費							
工事名標示板	古川水管橋(上流)	1.0 基			基	1.0	1.0

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

名　　称	規格・寸法	数 量 算 式	単位	数　量	設計数量
東根川水管橋（下流）	φ450mm				
水管橋延長		L=　25.4 =	m	25.40	
塗装面積		設計当初資料より			
		計　40.80　㎡ =	㎡	40.80	40.8
塗装工					
水洗い・清掃		塗装面積より =	㎡	40.80	40.8
素地調整工	3種ケレンC	塗装面積より =	㎡	40.80	40.8
下塗り	エポキシ 4回塗り	塗装面積より	㎡	40.80	40.8
中塗り	ふっ素 1回塗り	塗装面積より =	㎡	40.80	40.8
上塗り	ふっ素 1回塗り	塗装面積より =	㎡	40.80	40.8
仮設工		※別紙図面より			
単管足場工		計　48.7　㎡ =	掛㎡	48.70	48.7
		※別紙図面より			
シート張防護工		計　70.6　㎡ =	㎡	70.60	70.6
仮水路工		ポリエチレン管延長(m)　本数			
仮排水管	高密度ポリエチレン管 φ1000無孔管 据付	5.0 × 4.0 =	m	20.0	20.0
	高密度ポリエチレン管 φ700無孔管 据付	5.0 × 1.0 =	m	5.0	5.0
		本数			
仮排水管	高密度ポリエチレン管 φ1000無孔管 撤去	5.0 × 4.0 =	m	20.0	20.0
	高密度ポリエチレン管 φ700無孔管 撤去	5.0 × 1.0 =	m	5.0	5.0
		図面上計算(㎡)　奥行(m)　袋換算(㎡/袋)			
土のう	大型土のう 製作・据付	(8.5 × 5.0)÷ 1.0 =	袋	42.5	42.5
		図面上計算(㎡)　奥行(m)　袋換算(㎡/袋)			
土のう	大型土のう 据付・撤去	(8.5 × 5.0)÷ 1.0 =	袋	42.5	42.5
		㎥換算(袋/㎥)			
土砂等運搬		42.5 × 1.0 =	㎥	42.5	42.5
		㎥換算(袋/㎥)			
整地		42.5 × 1.0 =	㎡	42.5	42.5

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

産業廃棄物運搬 (廃プラスチック類)			フレコン1袋当たり の重量(t/袋)				
現場発生品運搬	支給品積 込･荷下ろし	42.5	×	0.0027	=	t	0.115	0.1
			運搬距離28.6㎞					
			フレコン1袋当たり の重量(t/袋)				
現場発生品運搬	品･支給品 運搬	42.5	×	0.0027	=	t	0.115	0.1
		運搬料(t)	廃プラスチック類 比重(t/㎥)				
産業廃棄物処分 (廃プラスチック類)	処分量 (中間処理)	0.115	÷	0.35	=	㎥	0.33	0.3
作業ヤード整備工							
路体(築堤)盛土	購入土				=	㎥	37.0	37.0
土砂等運搬	残土処理 運搬距離 L＝2.0㎞				=	㎥	37.0	37.0
整地	残土受け入れでの処理				=	㎥	37.0	37.0
敷鉄板	設置	46.5			=	㎡	46.5	46.5
	撤去	46.5			=	㎡	46.5	46.5
	賃料	22×1524×3048(802㎏/枚)10枚 共用20日			=	枚･日	200.0	200.0
安全管理工								
交通誘導員	交通誘導員B	足場搬入搬出1･資材搬入1		足場設置1･撤去1				
		(6.0	+	6.0)	=	人	12.0	12.0
運搬費								
仮設材運搬	8t	片道2.2㎞			=	式	1.0	1.0
仮設材	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)積込み				=	t	8.0	8.0
仮設材	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)取卸し				=	t	8.0	8.0
安全費								
工事名標示板	東根川水管橋(下流)	1.0 基				基	1.0	1.0

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

名　　称	規格・寸法	数 量 算 式		単位	数　量	設計数量
伝 樋 川 水 管 橋	φ450mm					
水管橋延長		L= 13.2	=	m	13.20	
塗装面積		設計当初資料より				
		計 31.62 ㎡	=	㎡	31.62	31.6
塗装工						
水洗い・清掃		塗装面積より	=	㎡	31.62	31.6
素地調整工	3種ケレンC	塗装面積より	=	㎡	31.62	31.6
下塗り	エポキシ 4回塗り	塗装面積より	=	㎡	31.62	31.6
中塗り	ふっ素 1回塗り	塗装面積より	=	㎡	31.62	31.6
上塗り	ふっ素 1回塗り	塗装面積より	=	㎡	31.62	31.6
仮設工		※別紙図面より				
単管足場工		計 10.5 ㎡	=	掛㎡	10.50	10.5
		※別紙図面より				
シート張防護工		計 29.5 ㎡	=	㎡	29.50	29.5
安全管理工						
交通誘導員	交通誘導員B	足場搬入搬出1・資材搬入1　足場設置1・撤去1				
		(2.0 + 2.0)	=	人	4.0	4.0
安全費						
工事名標示板	伝樋川水管橋	1.0 基		基	1.0	1.0

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

名　　称	規格・寸法	数 量 算 式	単位	数　量	設計数量
木 幡 川 水 管 橋	φ200mm				
水管橋延長		L= 9.6 =	m	9.60	
塗装面積		設計当初資料より			
		計 12.43 ㎡ =	㎡	12.43	12.4
塗装工					
水洗い・清掃		塗装面積より =	㎡	12.43	12.4
素地調整工	3種ケレンC	塗装面積より =	㎡	12.43	12.4
下塗り	エポキシ 4回塗り	塗装面積より =	㎡	12.43	12.4
中塗り	ふっ素 1回塗り	塗装面積より =	㎡	12.43	12.4
上塗り	ふっ素 1回塗り	塗装面積より =	㎡	12.43	12.4
仮設工		※別紙図面より			
単管足場工		計 24.30 ㎡ =	掛㎡	24.30	24.3
		※別紙図面より			
シート張防護工		計 31.5 ㎡ =	㎡	31.50	31.5
仮水路工		ポリエチレン管延長(m) 本数			
仮排水管	高密度ポリエチレン管 φ800無孔管 据付	16.0 × 1.0 =	m	16.0	16.0
		ポリエチレン管延長(m) 本数			
仮排水管	高密度ポリエチレン管 φ800無孔管 撤去	16.0 × 1.0 =	m	16.0	16.0
		図面上計算(㎡) 奥行(m) 袋換算(㎡/袋)			
土のう	大型土のう 製作・据付	(5.3 × 2.0)÷ 1.0			
		+ 2.0 =	袋	12.6	12.6
		図面上計算(㎡) 奥行(m) 袋換算(㎡/袋)			
土のう	大型土のう 据付・撤去	(5.3 × 2.0)÷ 1.0			
		+ 2.0 =	袋	12.6	12.6
		㎥換算(袋/㎥)			
土砂等運搬		12.6 × 1.0 =	㎥	12.6	12.6

福島地方水道用水供給企業団

数 量 計 算 書

			㎥換算(袋/㎥)				
整地		12.6	× 1.0	=	㎥	12.6	12.6
産業廃棄物運搬 (廃プラスチック類)			フレコン1袋当たり の重量(t/袋)				※小数点第一位 に繰り上げ
現場発生品運搬	支給品積 込・荷下ろし	12.6	× 0.0027	=	t	0.034	0.1
			運搬距離30.1㎞				
			フレコン1袋当たり の重量(t/袋)				※小数点第一位 に繰り上げ
現場発生品運搬	品・支給品 運搬	12.6	× 0.0027	=	t	0.034	0.1
			運搬料(t) 廃プラスチック類 比重(t/㎥)				
産業廃棄物処分 (廃プラスチック類)	処分量 (中間処理)	0.034	÷ 0.35	=	㎥	0.10	0.1
安全管理工							
交通誘導員	交通誘導員B	足場搬入搬出1・資材搬入1	足場設置1・撤去1				
			(2.0 + 2.0)	=	人	4.0	4.0
安全費							
工事名標示板	木幡川水管橋	1.0 基			基	1.0	1.0

福島地方水道用水供給企業団